参考資料２

第２期
湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン
事業検証（令和６年度実績）

〇基本目標１

湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする

〇基本目標２

湯河原町への新しいひとの流れをつくる

〇基本目標３

結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる

〇基本目標４

誰もが活躍できるまちづくりを進める

事業検証シート

まち・ひと・しごと創生を実現するため、各事業の KPI の達成度等により計画の進捗状況を客観的に点検・評価し、その後の取組みの改善につなげていくため、各事業の前年度の進捗状況等をまとめたものです。

第2期湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン　掲載事業一覧

基本目標1　湯河原町にしごとをつくり、町内で就労できるようにする			
1－1　起業支援・企業誘致の推進			
No.	項目	総合評価	担当課
1	サテライトオフィス等の誘致	△	地域政策課／観光課
2	創業支援セミナーの開催	○	観光課
1－2　地域産業の活性化			
1	駅周辺（商店街等）の活性化	○	観光課／地域政策課
2	ゆがわら認定産品制度	○	観光課
3	体験型農業事業の拡充	△	農林水産課
4	農林水産業の活性化	○	農林水産課
1－3　雇用支援と人材育成			
1	雇用確保支援	×	地域政策課／観光課
2	インターンシップ支援	△	地域政策課／観光課／農林水産課
3	郷土愛を育む学習活動	○	学校教育課／社会教育課／こども支援課

基本目標2　湯河原町への新しいひとの流れをつくる			
2－1　関係人口の創出・拡大			
No.	項目	総合評価	担当課
1	ロケツーリズムの推進	○	観光課
2	万葉公園・周辺地区まちづくり	○	観光課
3	インバウンドの推進	○	観光課／地域政策課
4	町民向けセミナー・観光ツアーの開催	○	観光課
5	魅力ある地域資源の活用	○	観光課
6	文化と観光による地域再生	○	美術館
7	スポーツイベントの推進	○	社会教育課／地域政策課／観光課
8	スポーツ施設の整備	○	社会教育課／まちづくり課
2－2　移住・定住の促進			
1	湯河原町への移住PR	○	地域政策課
2	かながわ県西空き家バンクポータルサイトの活用	○	地域政策課
3	お試し移住の促進	△	地域政策課
4	休耕地の利活用	○	農林水産課
5	移住・定住者への補助	○	地域政策課
2－3　情報発信の強化			
1	湯河原温泉公式ホームページの活用	○	観光課
2	合宿等の誘致に向けた情報発信	○	地域政策課／観光課／農林水産課
3	多様な媒体による情報発信	○	秘書広報室／観光課／デジタル推進室

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

基本目標3　結婚・出産・子育てしやすい環境をつくる			
３－１　結婚生活応援			
No.	項目	総合評価	担当課
1	結婚祝い金の支給	○	住民課
３－２　出産環境の充実			
1	安心して子どもを産める環境の整備	○	保健センター／消防本部
2	妊娠、出産へ向けた支援体制	○	保健センター／こども支援課
3	切れ目のない財政支援	○	こども支援課／保健センター／学校教育課
３－３　ゆがわらっこ育ての支援			
1	ファミリーサポートセンターの活用促進	○	こども支援課
2	利用しやすい保育所の運営	○	こども支援課
3	教育環境の整備	○	学校教育課
4	学童保育所や子ども教室の活用	○	社会教育課

基本目標4　誰もが活躍できるまちづくりを進める			
４－１　多世代交流・地域コミュニティ活動の推進			
No.	項目	総合評価	担当課
1	多世代交流による若者の人口減少抑制	○	こども支援課／地域政策課／介護課
2	子どもフォーラムの開催	△	学校教育課
3	外国人住民との交流推進	○	地域政策課
４－２　健康長寿社会の実現			
1	「未病を改善する」取組の推進	◎	地域政策課／保健センター／介護課
2	介護予防サポーターの育成	◎	介護課
3	趣味、サークル活動の推進	△	介護課／社会福祉課
4	シルバー人材センターの活用	○	介護課
5	交通不便地域の解消	○	地域政策課／介護課／社会福祉課
４－３　安心・安全なくらしの確保			
1	地域会館を活用した遊び場づくり	○	社会教育課／社会福祉課
2	地域防災力の強化	○	地域政策課／消防本部

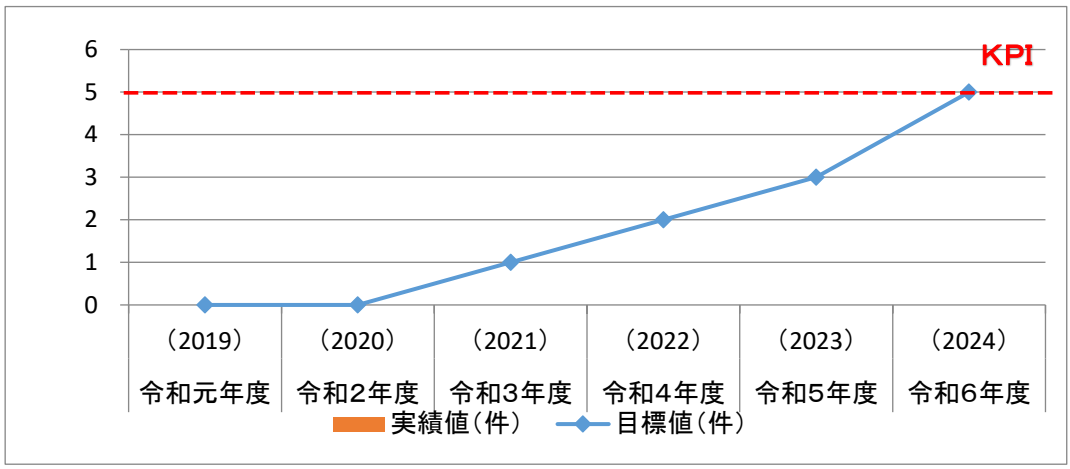
	◎	○	△	×	計
基本目標1	0	5	3	1	9
基本目標2	0	15	1	0	16
基本目標3	0	8	0	0	8
基本目標4	2	6	2	0	10
計	2	34	6	1	43

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－１（１）	サテライトオフィス等の誘致	担当課
概要	古民家や廃業施設を利用した事業所の誘致、複合商業施設や娯楽施設の誘致及びテレワークを推進しサテライトオフィスなどの企業誘致を実施する。	地域政策課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	誘致事業所数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	０ 件
			目標値 令和６年度（2024）	５ 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	0	0	1	2	3	5
実績値（件）	0	0	0	0	0	0
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ＫＰＩ評価	×	×	×	×	×	×

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和２年度の万葉公園再整備事業において玄関テラス２階にコワーキングスペースを設けた。（令和６年度利用実績16,314人） ・駅前交流拠点において多様な活動ができるよう、インターネット環境等を整備することで、コワーキングスペースとしての活用も可能となった。
分析 Check	・県内において、行政が主体となって実施している事例、成功と言える事例が少ない中で、地域の特性に合った整備の検討が必要。
今後の方向性 Action	・観光と新しい生活様式にあわせたコワーキングスペースとして、空間づくりを引き続き展開していく。 ・コロナ禍を経て在宅でのリモートワークが普及したことに伴い、サテライトオフィス等の誘致の必要性について改めて見直しを図っていく。

総合評価	△	取組の見直し

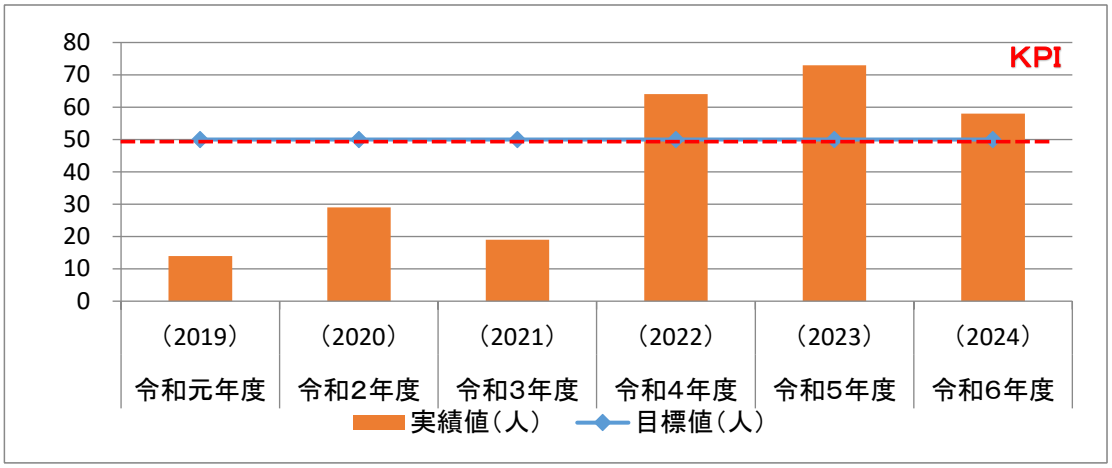
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－１（２）	創業支援セミナーの開催	担当課
概要	商工会などと連携し、町内での創業を目指す方に対し、創業に必要な基礎知識などを習得するためのセミナーを開催する。	観光課

進捗状況				
ＫＰＩ	セミナー参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	19 人
		目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	50	50	50	50	50	50
実績値（人）	14	29	19	64	73	58
目標達成率	28%	58%	38%	128%	146%	116%
ＫＰＩ評価	△	△	△	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・創業支援セミナーを全８回開催した。（のべ参加者58名） ・会場に来れない参加者はオンラインで参加した。 ・セミナー終了後、開業に向けた伴走支援を実施した。（３社）
分析 Check	・国の交付金を活用し３年目となるが、町や商工会などに創業に関する問合せがあるなど、一定のニーズがある。
今後の方向性 Action	・産業競争力強化法第127条第１項の規定に基づく創業支援等事業計画を策定し、国の認定を受けたことで、特定創業支援等事業認定者に対する支援措置が適用されるため、認定に必要な事業と位置付けた内容に沿って創業支援セミナーを実施していく。

総合評価	○	取組の継続

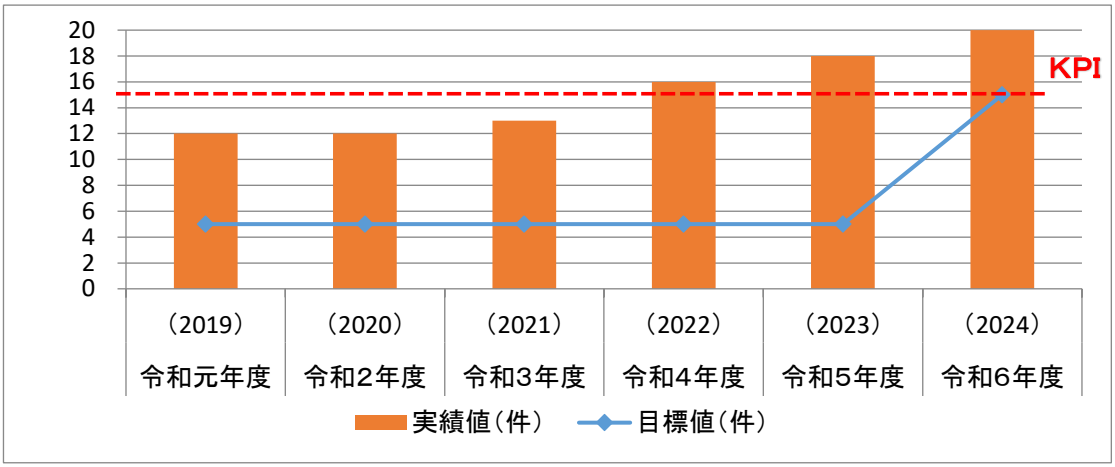
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（１）	駅周辺（商店街等）の活性化	担当課
概要	関係団体と連携して、湯河原駅周辺の商店街などを中心とする空き店舗を活用した新規開業支援、地場産品直売所の設置などによる活性化を促進する。	観光課 地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	駅前明店街での新規開業店舗数（平成27年度からの累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	10 件
			目標値 令和６年度（2024）	15 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	5	5	5	5	5	15
実績値（件）	12	12	13	16	18	20
目標達成率	240%	240%	260%	320%	360%	133%
ＫＰＩ評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・飲食店２店舗が新規オープン ・「ぶらん市」を３回開催 ・湯河原梅林「梅の宴」開催にあわせて「入園料キャッシュバック事業」を実施し、町内の商店街の活性化を図った（期間R7.2.1～3.9、チラシ配布は２月28日まで、参加店舗52店舗、取扱件数3,457件） ・駅前交流拠点「駅前の居場所」において、移住希望者、先輩移住者、町内外、子どもからお年寄りまで幅広い属性の人々が集まり、各種イベントや通常開所日の交流が促進された。
分析 Check	・「入園料キャッシュバック事業」は町内を周遊し消費が生まれる取組みであり、駅周辺及び徒歩圏内の店舗での消費が約80%であったが、温泉場商店街が約16%、中央商店会が約２%と一定数の消費があり、町内の周遊に効果があった。 ・移住相談やコミュニティスペースとして活用できる駅前の居場所を運営することで、新たな人の流れををつくり、駅周辺の賑わいを創出することで、新規開業事業所の増加にもつながると考える。 ・駅前の居場所が案内所としての役割も果たし、商店街の活性化を推進する。
今後の方向性 Action	・駅周辺の活性化が進められていく中、今後は商店街の回遊・滞留時間の増加へ寄与する取組みを実施していく。 ・「駅前の居場所」を引き続き運営し、駅周辺でのコミュニティスペースとしての活用がより活発に行われるよう、より適した運営方法について模索する。

総合評価	○	取組の継続

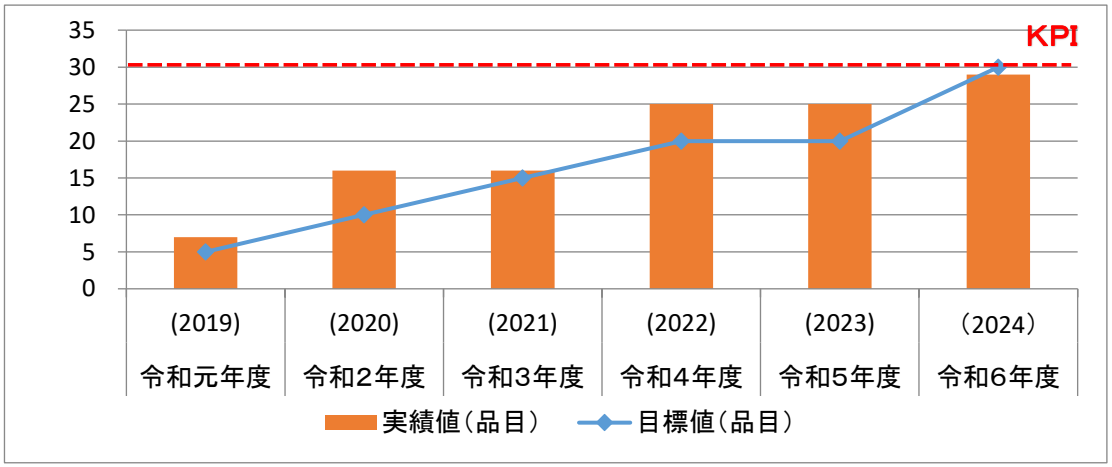
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（２）	ゆがわら認定産品制度	担当課
概要	農林水産物や加工品などの特産品を「made in ゆがわら」として認定し、町内での認知度をさらに高めるとともに、町外への情報発信を行っていく。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	認定品の拡充（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 品目
			目標値 令和６年度（2024）	30 品目



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（品目）	5	10	15	20	20	30
実績値（品目）	7	16	16	25	25	29
目標達成率	140.00%	160.00%	106.67%	125%	125%	97%
ＫＰＩ評価	◎	◎	◎	◎	◎	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・平成30年度に７品目を認定 ・令和２年度に10品目を認定 ・令和４年度に９品目を認定 ・令和６年度に７品目を認定（H30年度認定品の更新及び廃業等店舗の整理） ・さつきの郷直売所にてmade in ゆがわらブースを出店した。 ・ゆがフェス開催及び湯河原駅100周年に併せて、令和６年10月27日湯河原駅大屋根広場にてmade in ゆがわらブースを出店した。
分析 Check	・認定審査委員会において活発な意見交換ができている。
今後の方向性 Action	・made in ゆがわらブースの出店機会を増加させる。 ・観光キャラバンなどを活用し、町外に向けてさらに周知を図っていく。

総合評価	○	取組の継続

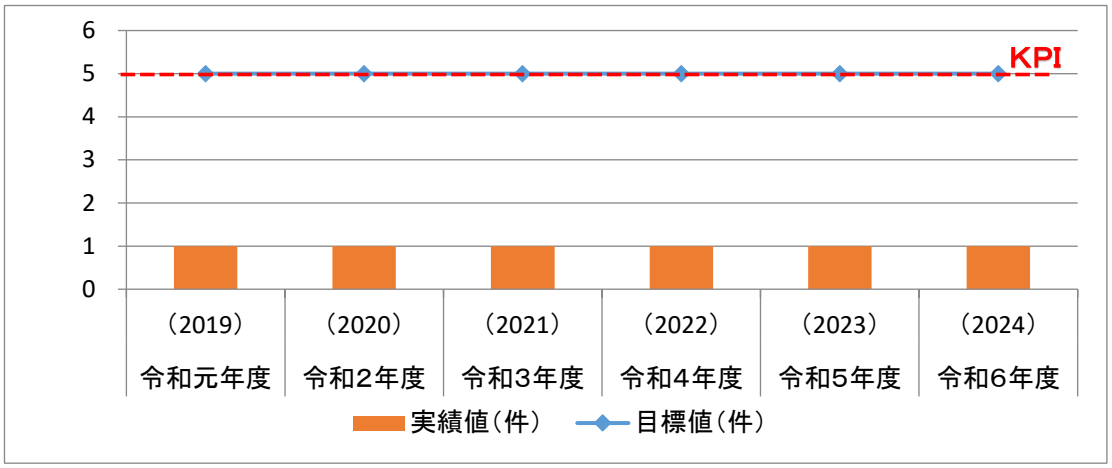
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（３）	体験型農業事業の拡充	担当課
概要	みかんの木のオーナー制度だけでなく、中晩柑、キウイフルーツ、ブルーベリーなど町内で栽培される農産物においても農業者と実現可能か検討していく。	農林水産課

進捗状況				
	ＫＰＩ	農産物オーナー制度（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	１件
			目標値 令和６年度（2024）	５件



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（件）	5	5	5	5	5	5
実績値（件）	1	1	1	1	1	1
目標達成率	20%	20%	20%	20%	20%	20%
ＫＰＩ評価	○	○	○	○	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・門川生産組合主体で「みかんの木のオーナー制度」を実施し、36世帯が利用している。
分析 Check	・オーナー制度は農業者への負担が多く、継続も困難なため、実績値が伸び悩んでいる。
今後の方向性 Action	・オーナー制度を実施している団体へは引き続き支援を行う。 ・農業協同組合などと実現の可能性を検討する必要があるが、事業の見直しも含め検討する必要がある。

総合評価	△	取組の見直し

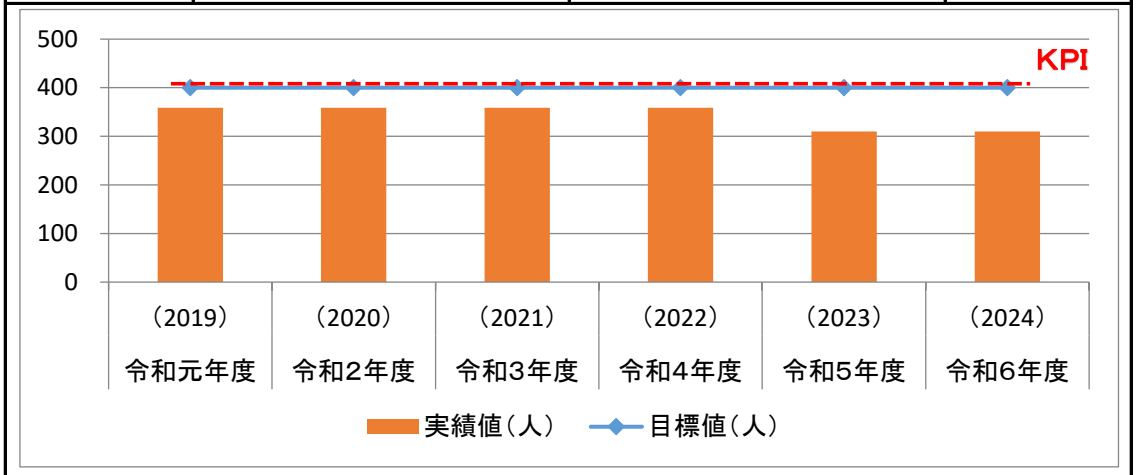
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－２（４）	農林水産業の活性化	担当課
概要	黒潮の影響を受けた豊かな漁場と温暖な気候に恵まれた環境を観光業だけでなく、稼げる農業・漁業を目指し、農林水産業の活性化を図る取組を検討する。	農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	１次産業就労者数（累計）	基準値（開始時） 平成27年度（2015）	359 人
			目標値 令和６年度（2024）	400 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	400	400	400	400	400	400
実績値（人）	359	359	359	359	310	310
目標達成率	90	90%	90%	90%	80%	80%
ＫＰＩ評価	○	○	○	○	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・果樹等の高品質化と安定供給や鳥獣被害の防止を図るため、苗木や資材の購入に対し補助を行った。また、苗木は補助率を上げ、より活性化を図った。 ・漁業施設の維持管理や調査を行い、漁業の振興を図るため、漁業組合に対し補助を行った。
分析 Check	・農業、漁業共に卸売価格が低く苦慮している。インターネット販売等の新たな販路が必要と思われる。
今後の方向性 Action	・町で行っている補助については継続していく。 ・新規就農者に関しては、農業委員会と協力しながらサポートしていく必要がある。 ・新たな販路を検討する。

総合評価	○	取組の継続

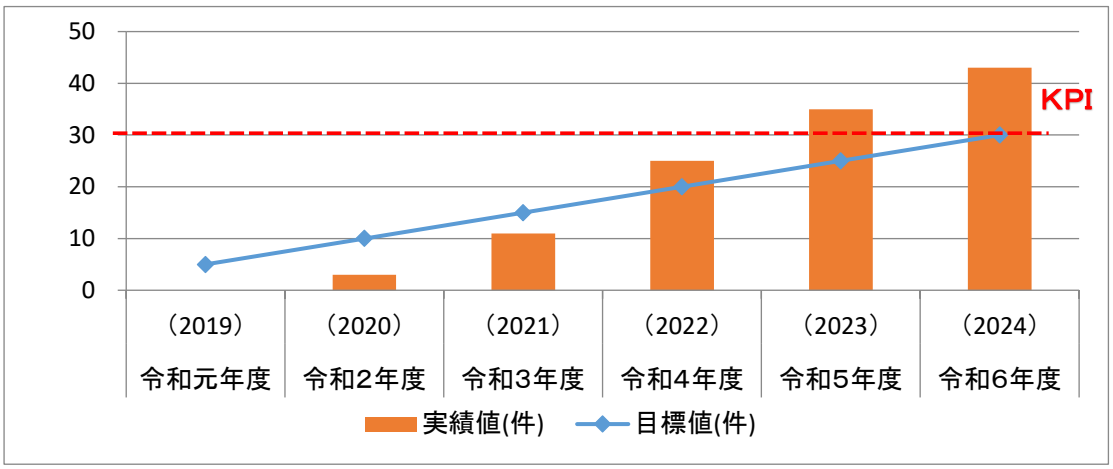
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（１）	雇用確保支援	担当課
概要	町内の小規模な事業を含めた雇用希望企業の情報をとりまとめ、雇用確保支援専用のＨＰを構築、情報発信を行う。	地域政策課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	掲載企業数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	0 件
			目標値 令和６年度（2024）	30 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(件)	5	10	15	20	25	30
実績値(件)	0	3	11	25	35	43
目標達成率	0%	30%	73%	125%	140%	143%
ＫＰＩ評価	×	△	○	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和６年度掲載記事登録企業数 登録企業数　８件　（令和５年度　10件） 申込み件数　22件　（令和５年度　25件） 閲覧数　8,037件　（令和５年度　8,656件）
分析 Check	・登録企業数、申込み件数、閲覧数いずれも昨年度より微減となる。令和６年度に実施したアンケート結果等から、求人サイトを利用した累計採用数が10件程度となっていることや、効果を感じていないといった回答が８割にのぼることから、事業の継続について検討する必要がある。
今後の方向性 Action	・分析を踏まえ、事業については中止することとし、町内事業所に対する新たな雇用確保支援策を検討する。

総合評価	×	取組の中止・終了・統合

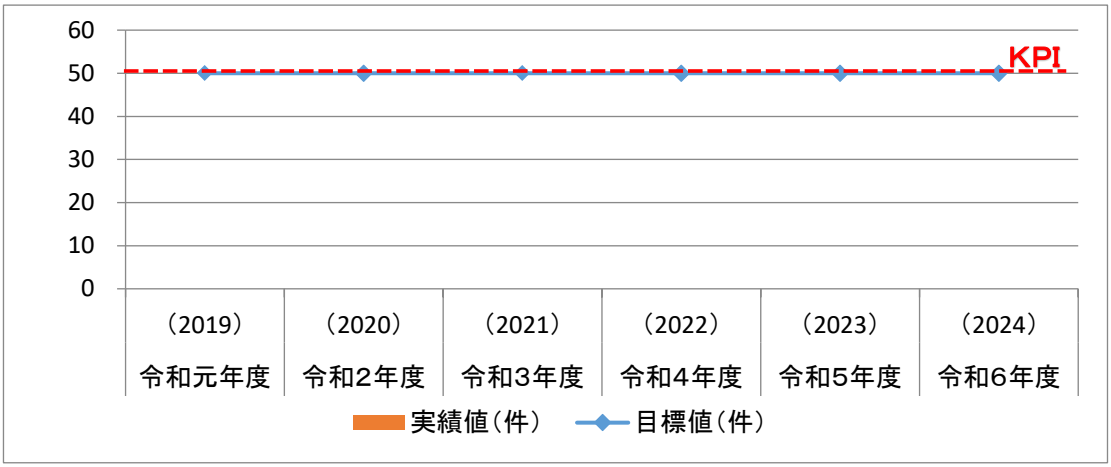
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（２）	インターンシップ支援	担当課
概要	旅館・小売店舗・卸売りなどの第３次産業及び農業・漁業の第１次産業において、就労に必要な知識を習得するためのインターンシップ受け入れが可能な事業所などをとりまとめ、情報を公開するだけでなく、積極的に高校・専門学校・大学などへの説明・売り込みを行う。	地域政策課 観光課 農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	受入者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	50	50	50	50	50	50
実績値（件）	0	0	0	0	0	0
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ＫＰＩ評価	○	○	×	×	×	×

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・インターンシップを受入れることができていない。
分析 Check	・深刻な農業者の高齢化と後継者不足により、受け入れ農家が見つけづらい。 ・受け入れ可能事業者等を見つけられる体制が整っていない。
今後の方向性 Action	・短期インターンシップの実施を検討する。 ・インターンシップを受け入れられる農家、事業者等とのネットワーク構築が必要であると考える。 ・農業者団体や農業委員会などとの検討が必要である。

総合評価	△	取組の見直し

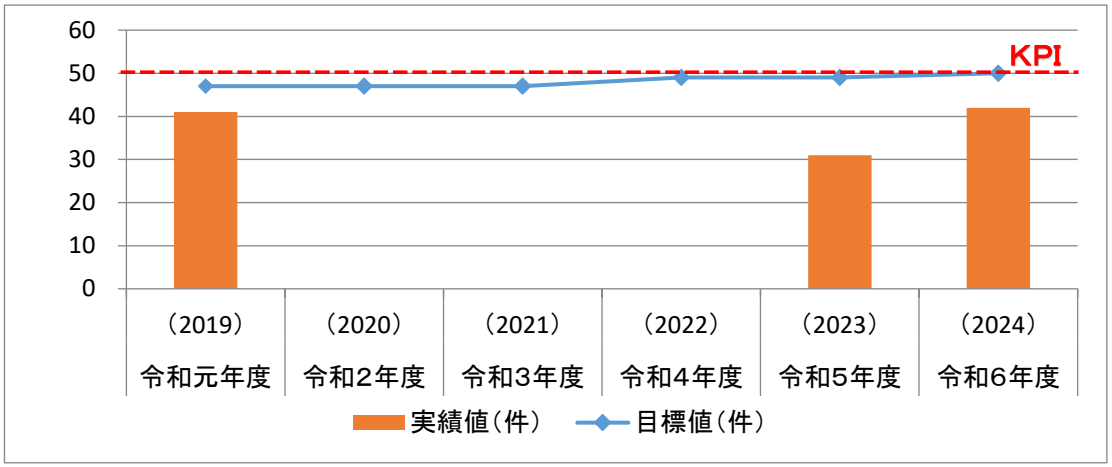
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標１ １－３（３）	郷土愛を育む学習活動	担当課
概要	保育園や幼稚園、小中学校などにおいて湯河原らしさのあるカリキュラムや体験活動を行い、郷土愛を育む教育を推進することで、将来的に子どもたちが湯河原町へ戻ってくるサイクルを創出する。	学校教育課 社会教育課 こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	中学生の職業体験教育の受入企業数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	47 件
			目標値 令和６年度（2024）	50 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	47	47	47	49	49	50
実績値（件）	41	0	0	0	31	42
目標達成率	87%	0%	0%	0%	63%	84%
ＫＰＩ評価	△	×	×	×	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・中学校の職場体験については、令和６年度も地域のご理解・協力をいただきながら実施することができた。 参加者：中学２年生146名 実施職種：医療・銀行・土木・福祉・スポーツ関係・飲食店・宿泊施設・美容関係・保育・小学校・図書館・美術館・消防本部 ・小学校においては、稚鮎の放流及び茶摘み体験については雨天により中止となったが、温泉入浴、ミカン狩り体験、真鶴道路の施設見学などのほか、遠足行事として幕山や吉浜海岸を訪れ地域の特色を知るきっかけをつくり、郷土への親しみを育むことができた。 ・幼稚園においては、美術館、図書館等の町立の施設見学を行うほか、町内園児とともに「土にふれあう園児のつどい」へ参加した。また、東台福浦小学校の児童との交流の中でミカン狩り体験を行うなど、幅広い年代と交流する機会も設けている。 ・土にふれあう園児のつどい 参加園児数　令和６年度　苗付け85名、収穫85名　延人数170名
分析 Check	・中学校の職場体験は、目標値の企業数を目指し継続実施したい。 ・小学校の校外学習については、郷土への関心を持つきっかけを作るとともに、児童生徒の体力向上に繋がっている。各地域の特色を活かした体験学習を実施しているが、町内３小学校で偏りなく実施ができるよう今後も継続実施したい。 ・幼稚園では、町立保育園の児童とともに、さつまいもの苗付け及び収穫等を体験することで、子どもたちに土のぬくもりや収穫の楽しさを感じてもらうなど、食育の一環としても継続実施していきたい。 ・いもの苗付け及び収穫等を体験することで、子供たちに土のぬくもりや収穫の楽しさを感じてもらうなど、食育の一環として実施している。
今後の方向性 Action	・今後も地域性を活かした授業等を関係機関や地元の住民と協力連携しながら継続して実施する。

総合評価	○	取組の継続

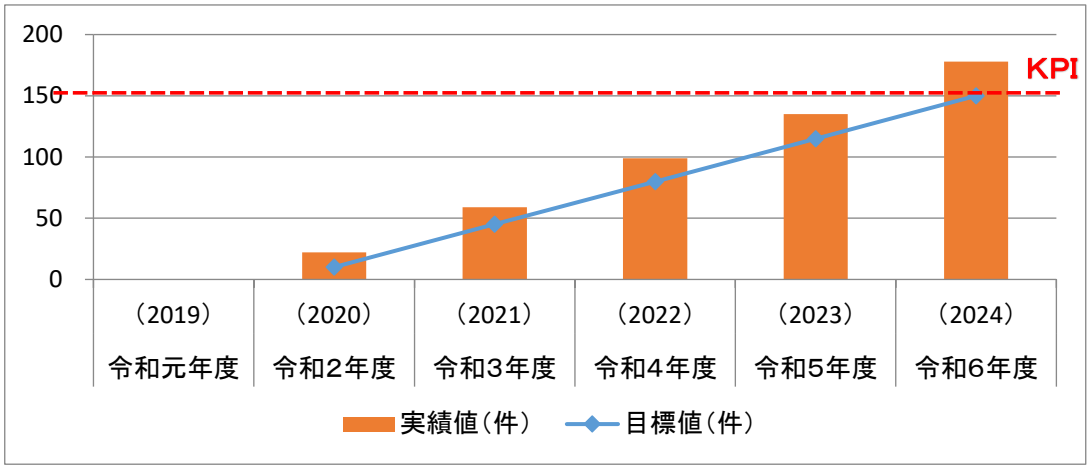
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	小さい事業所では受入れが難しいのではないか。

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（１）	ロケツーリズムの推進	担当課
概要	ロケ地の誘致情報を一元化しロケツーリズムを推進する。それにより、ロケ場所が聖地となり、最初は観光で訪れていた方が、町内を回遊するうちに湯河原のファンとなる関係人口を増やし、定住を決断することを目指す。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	ワンストップ窓口を経由して町内で撮影されたコンテンツ（ドラマ、アニメ、ネット配信等）（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 件
			目標値 令和６年度（2024）	150 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	－	10	45	80	115	150
実績値（件）	－	22	59	99	135	178
目標達成率	－	220%	131%	124%	117%	119%
ＫＰＩ評価	－	◎	◎	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ロケツーリズム協議会に参画し、ロケ誘致のセミナーや制作者とのマッチングに参加したほか、ロケ情報雑誌「ロケーションジャパン」にも継続的に取り上げていただき、業界での知名度を高め、制作者にロケ誘致に積極的である姿勢をアピールしてきた。
分析 Check	・話題性の高い映画などの撮影が増加し、湯河原中学校での撮影ではエキストラがのべ50人を超えるなど、これまでの取組みが着実に実を結んでいる。 ・情報番組は即効性があり、放送後に取り上げられた飲食店にお客が訪れるなど、一定の効果が出ている。
今後の方向性 Action	・引き続きロケツーリズム協議会に参画し、ロケ誘致に取り組んでいく。 ・エキストラやロケ地登録を促進し、より一層町民を巻き込んでいく。 ・ロケ実績を見える化させ、町民については、シビックプライド(郷土愛)の醸成を図り、観光客については、聖地巡礼などに繋げていく。

総合評価	○	取組の継続

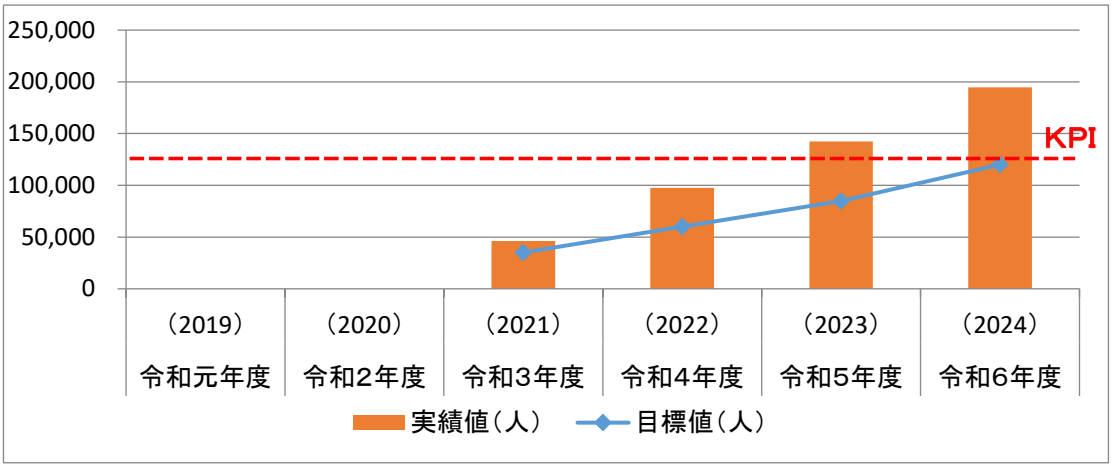
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（２）	万葉公園・周辺地区まちづくり	担当課
概要	コンセプト「湯河原温泉場の屋外リビング＆ガーデン」に基づき、リニューアルされた万葉公園を湯河原温泉の玄関口及び滞在の拠点にし、温泉場エリアに魅力的な滞在の核をつくる。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	万葉公園湯河原惣湯（玄関テラス）利用者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	120,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	－	35, 000	60, 000	85, 000	120, 000
実績値（人）	－	－	46, 125	97, 656	142, 392	194, 816
目標達成率	－	－	132%	163%	168%	162%
ＫＰＩ評価	－	－	◎	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和５年度に引き続き、街歩きイベント「湯探歩」に湯河原惣湯も参加、偶数月の第一土曜・日曜日に温泉場エリアの旅館・店舗等が来客用にそれぞれ特別な企画、景品等を用意して実施。 ・自主事業として「ピザ教室」を開催、カフェメニューの開発等も行った。
分析 Check	・実績値の把握は、万葉公園玄関テラスの月次報告によるもの。 ・令和５年度の実績と比べて推計で7, 700人の増となっている。
今後の方向性 Action	・令和５年度に引き続き、民間団体と連携しながら、町内業者が出店できるような集客イベントの強化を図る

総合評価	○	取組の継続

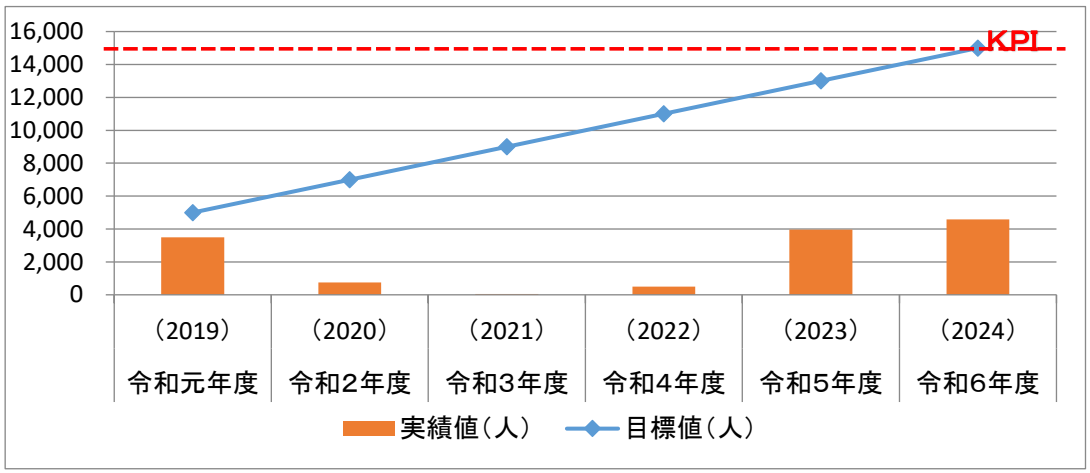
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（３）	インバウンドの推進	担当課
概要	湯河原町を訪れる外国人観光客の誘客を促進するため、外国語でのおもてなしレベルの向上を図るとともに、湯河原町の自然や文化などの資源を活用したＰＲや海外都市との経済交流、民間団体との連携、SNSを活用した英語での観光情報の発信などにより、インバウンドを促進する。	観光課 地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	外国人観光客数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	15,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	5,000	7,000	9,000	11,000	13,000	15,000
実績値（人）	3,500	750	50	500	3,970	4,580
目標達成率	70%	11%	1%	5%	31%	31%
ＫＰＩ評価	○	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・実績値については、推計値。 ・駅前観光案内所にタイ国籍の職員を配置。 ・同職員により日本語、英語、タイ語での観光情報をインスタグラムで発信。 ・海外駐在員によるレポートを８回更新。 ・大韓民国・忠州市で開催される「ダイブフェスティバル」への参加の要請を受け、湯河原町から訪問団を派遣。また、忠州市長をやっさまつりに招待し、表敬訪問及び記念植樹などの交流を行った。 ・イタリア・ティヴォリ市で開催される「Japanese Culture festival」への参加の要請を受け、湯河原在住の書道家等を派遣し湯河原町をＰＲする特設ブースの運営と日本文化を象徴する「書道」の紹介を行ったほか、ティヴォリ市民21名を受け入れ、交流を行った。
分析 Check	訪日外国人観光客人流データ（モバイル空間統計）による国籍割合は、中国36.3%、台湾22.8%、韓国18.2%、オーストラリア5.0%、フランス2.5%、タイ3.3%、シンガポール3.9%、香港5.7%、イギリス1.5%、ポルトガル0.8% ・コロナ禍からの回復により、相互交流が本格的に再開できた。
今後の方向性 Action	・これまでの取組みを検証し、今後のインバウンド施策を検討していく。 ・民間団体と連携をしながら、受け入れ態勢の拡充を図る。

総合評価	○	取組の継続

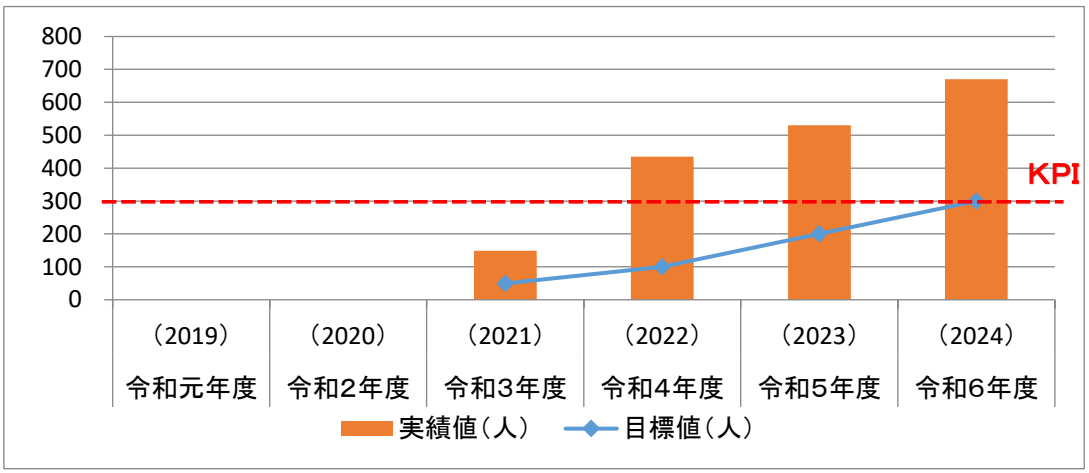
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（４）	町民向けセミナー・観光ツアーの開催	担当課
概要	観光客に湯河原町の魅力を知っていただくためには町民がその魅力を理解しなければならない。そこで、町民向けセミナーや観光ツアーを実施し、湯河原町の観光資源などの情報共有を図る。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	参加者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	300 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	－	50	100	200	300
実績値（人）	－	－	149	435	530	670
目標達成率	－	－	298%	435%	265%	223%
ＫＰＩ評価	－	－	◎	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・ロケツーリズムによる地域振興セミナーを３回実施、参加者計70名 ・６月20日・21日に映画やドラマの制作者向けにロケハンツアーを実施し３名参加、町内の施設を視察し、ロケ誘致を実施。 ・コキアワークショップを開催し、７名参加 ・國學院大学、明治大学文学部のまちづくりに対する提案報告会で計60名参加
分析 Check	・ロケツーリズム地域振興セミナーにおいて、観光関連事業者や観光ボランティアなどが参加し、オール湯河原でのロケ受け入れ体制の充実を図った。 ・ロケハンツアーを通じて、制作会社と町内の商店等が直接意見交換することにより、ロケツーリズムへの理解を深めた。
今後の方向性 Action	・引き続き、セミナーや観光ツアーを開催し、オール湯河原で観光客を受け入れる体制の構築を目指す。

総合評価	○	取組の継続

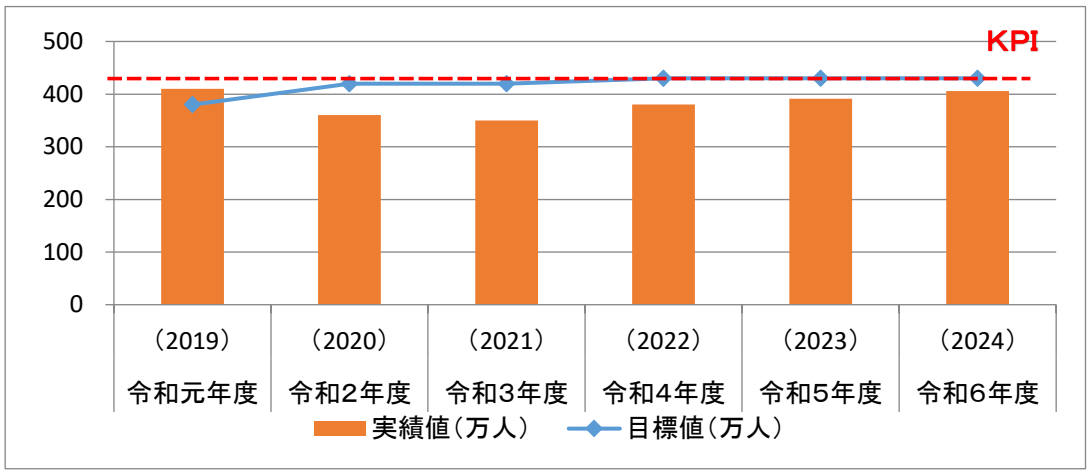
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（５）	魅力ある地域資源の活用	担当課
概要	地域に根付いた歴史・文化的な資源を活用し、広く情報発信することで訪れたい、関わりたいまちづくりを推進し、湯河原町の活性化を図る。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	観光客数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	365 万人
			目標値 令和６年度（2024）	430 万人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（万人）	380	420	420	430	430	430
実績値（万人）	410	360	350	380	391	406
目標達成率	108%	86%	83%	88%	91%	94%
ＫＰＩ評価	◎	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・やっさまつりや梅の宴など、観光行事をコロナ禍前の状態に戻して実施 ・梅の宴について、交通事業者の運転手不足を理由に運行しなくなり、貸切バスやワゴン車による送迎を実施
分析 Check	・交通事業者の運転手不足はすぐに解消される見込みが無く、地域公共交通に加え観光需要にも大きな影響が発生している。 ・入れ込み観光客数については神奈川県公の６月頃に表実績値が判明する。
今後の方向性 Action	・湯河原町にゆかりのある船越英一郎氏、小山みつな氏を観光大使に、地域に根付いた歴史・文化的な資源を広く発信していく。 ・星ヶ山公園の放棄された茶園を活用し、コキアの郷の整備を推進する。

総合評価	○	取組の継続

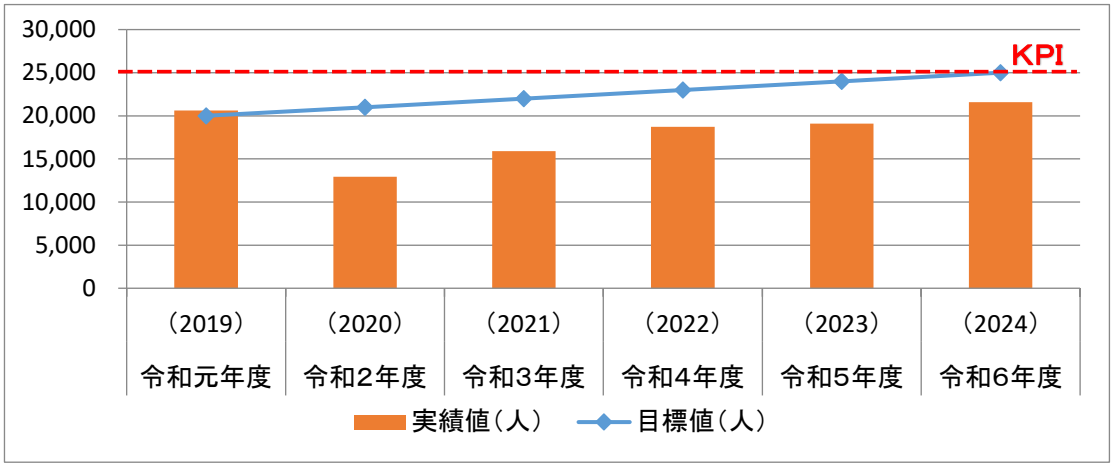
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（６）	文化と観光による地域再生	担当課
概要	「町立湯河原美術館」を温泉場エリアの観光拠点の１つとして先駆的な施設へと昇華させるため、館内に整備した見えるアトリエやカフェを活用し、美術館を起点にした回遊を生み出す。	社会教育課 （美術館）

進捗状況				
	ＫＰＩ	来館者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	20,989 人
			目標値 令和６年度（2024）	25,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	20, 000	21, 000	22, 000	23, 000	24, 000	25, 000
実績値（人）	20, 609	12, 932	15, 912	18, 712	19, 101	21, 594
目標達成率	103%	62%	72%	81%	80%	86%
ＫＰＩ評価	○	△	△	△	△	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・特別展として「髙良眞木　まなざしの奥に」を開催し、地域にゆかりの作家の掘り起こしを行い、その人と作品の魅力を紹介、平松礼二館においても郵船クルーズ（株）の協力のもと「旅する日本画-洋上の美術館・飛鳥Ⅲから-」を開催し、2025年に飛鳥Ⅲ船内に展示予定の平松作品を当館で先行公開した。 ・地元にゆかりの作家を中心に現代作家展を開催した。 ・特別展関連イベントをはじめ、ワークショップや講演会なども開催した。
分析 Check	・来館者数は、令和５年度と比較して2, 493人の増となり、ここ数年、年々増加傾向である。集客効果の要因は、町全体として観光客が増加傾向にあることはいえるが、令和６年度は２回の特別展の開催や各種イベントを実施しているためと思われる。また、湯河原・熱海・真鶴町民の入館者数が前年と比較して200人以上増えていることから、観光客だけでなく近隣町民にとっても関心をもたれるような展覧会やイベントを開催できたといえる。
今後の方向性 Action	・魅力的な展覧会を企画し、来館者数の増を図るとともに、定期的に創作や鑑賞ワークショップなどを開催し、観光客はもとより、町立の施設として町民に活用される文化拠点を目指す。また、付帯施設として、庭園、カフェ、ミュージアムショップの運営についても、引き続き、来館者の便益に配慮した運営を心がけ、周辺地域が活性化するよう貢献する。

総合評価	○	取組の継続

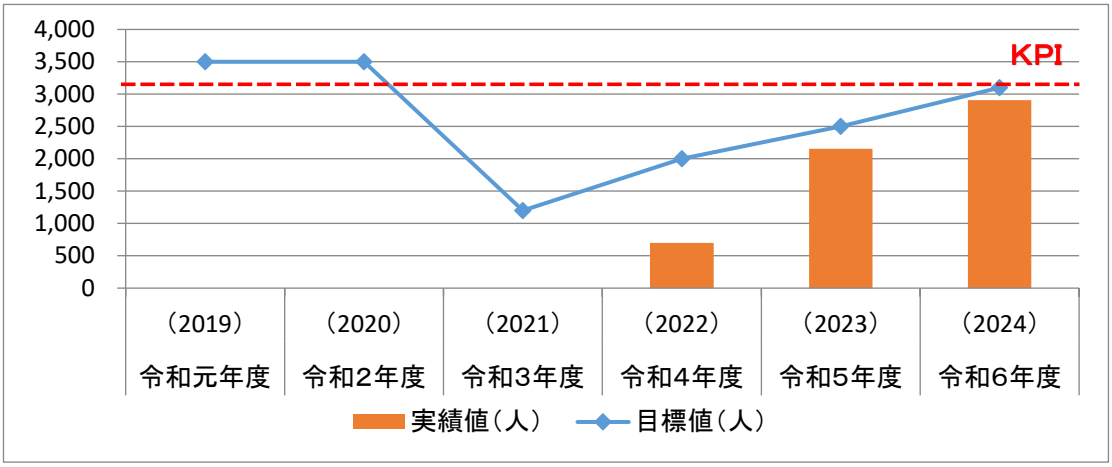
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（７）	スポーツイベントの推進	担当課
概要	湯河原温泉オレンジマラソンのような湯河原らしさを活かした宿泊を伴うスポーツ大会（サッカー・サーフィン・野球・ソフトボール・スローピッチなど）を開催または誘致し、体育施設を利用したスポーツ合宿の誘致など、観光事業者と連携を図りながら町外参加者および宿泊客の増加を図る。	社会教育課 地域政策課 観光課

進捗状況	ＫＰＩ	スポーツイベント町外参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	2,925 人
			目標値 令和６年度（2024）	3,100 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	3, 500	3, 500	1, 200	2, 000	2, 500	3, 100
実績値（人）	---	---	---	698	2, 156	2, 906
目標達成率	---	---	---	35%	86%	94%
ＫＰＩ評価	△	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和７年３月30日開催のオレンジマラソンにおいて、2, 631人の申込があり、このうち2, 439人が町外であった。また、宿泊者についても、210人の利用があった。このほか、ふるさと納税を利用しての参加者数が26人となった。 ・後援を行っているサーフィン大会（SEISHIN CUP 2024及びチャレンジカップ湘南西 Plesented by PLEGO）に合計467人の参加があった。
分析 Check	・令和６年度のオレンジマラソン申込者数は、申し込み期間を伸ばすなどの工夫もあり、令和５年度と比較して増加した。また、宿泊者も前年度に比べ、増加した。
今後の方向性 Action	・大会を運営するにあたり改善の余地は多数あるので、まずは既存の参加者の満足度を向上させるためにアンケート等を検討している。そこから口コミ等で新規参加者を増やせるよう改善していく必要がある。

総合評価	○	取組の継続

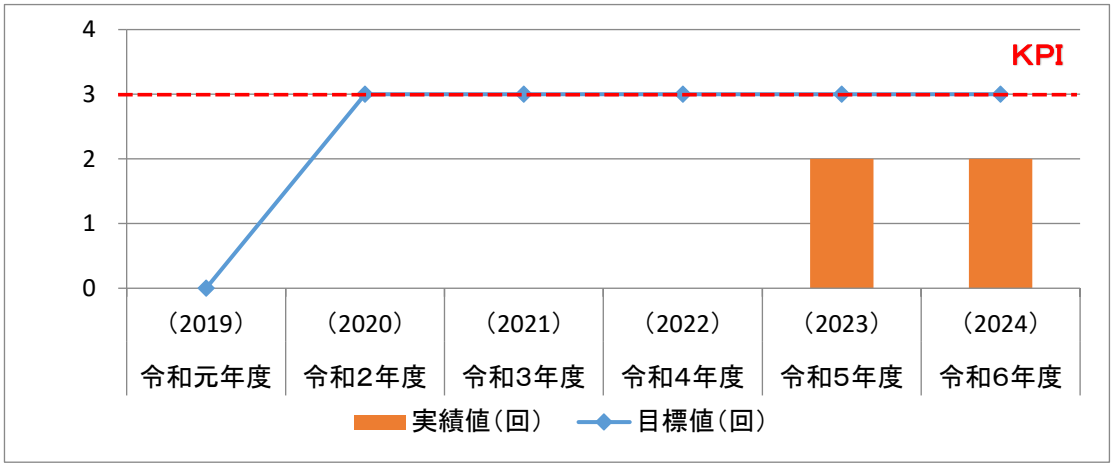
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－１（８）	スポーツ施設の整備	担当課
概要	湯河原総合運動公園へ弓道場・パークゴルフ場と休憩施設等を整備し、公園全体の利用者の増加や若年層と多世代間の交流を促進させる。併せて、観光産業とのマッチングを図ることにより、交流人口の増加と、地域経済の活性化を図る。	社会教育課 まちづくり課

進捗状況	ＫＰＩ	大会開催回数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 回
			目標値 令和６年度（2024）	３ 回



	令和元年度 （2019）	令和２年度 （2020）	令和３年度 （2021）	令和４年度 （2022）	令和５年度 （2023）	令和６年度 （2024）
目標値（回）	－	3	3	3	3	3
実績値（回）	－	0	0	0	2	2
目標達成率	－	0%	0%	0%	67%	67%
ＫＰＩ評価	－	×	×	×	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、〇基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・指定管理者及びパークゴルフ協会の協力によりパークゴルフ大会を２回開催した。 ・弓道人口及び練習・競技場所が限られた種目であることから、指定管理者及び体育協会弓道部が連携し、初心者教室を実施している。
分析 Check	・パークゴルフ大会を実施することで、健康増進につながると考えている。 ・弓道場の利用者のほとんどが町外の団体利用であったので、施設の利用について周知を図ることで今後も利用件数は伸びると考えている。
今後の方向性 Action	・指定管理者及び町パークゴルフ協会と連携し、定期的に大会を開催することで利用者の増や施設の周知等に努める。 ・指定管理者及び体育協会弓道部と連携し、大会の定期開催について検討する。また、初心者教室も年1回の実施なので、定期的な見学会などの入り口を増やすことで、新たな利用者の増に努める。

総合評価	〇	取組の継続

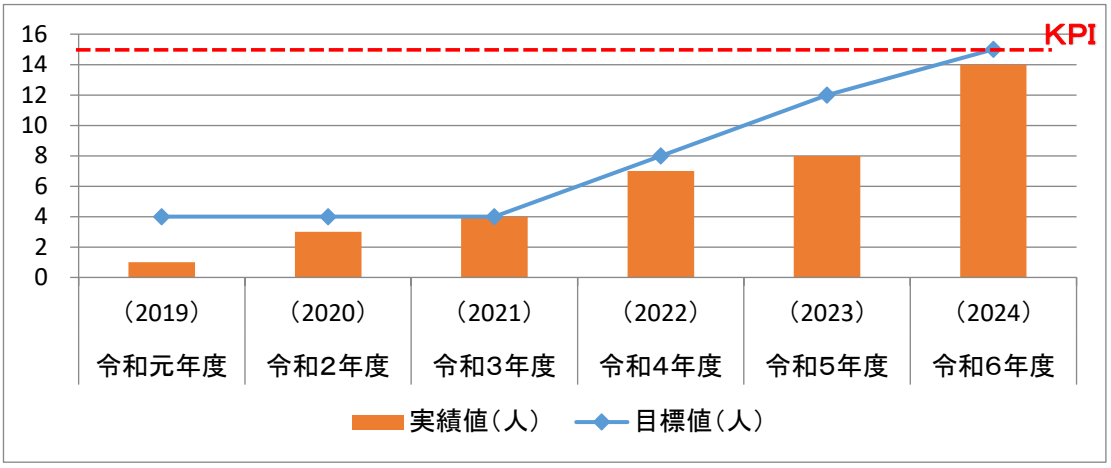
※総合評価：◎取組の深化・発展、〇取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（１）	湯河原町への移住ＰＲ	担当課
概要	神奈川県と合同で実施している東京での移住セミナーだけでなく、実際に町内を見ていただき、地域資源や各種イベントを通じて湯河原町の自然、産業、暮らしなどをＰＲする。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	移住セミナー等参加者からの移住者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	１ 人
			目標値 令和６年度（2024）	15 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	4	4	4	8	12	15
実績値（人）	1	3	4	7	8	14
目標達成率	25%	75%	100%	88%	67%	93%
ＫＰＩ評価	△	○	○	○	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・役場での相談件数　27件（R5年度　37件） ・駅前の居場所等での移住相談　182件（R5年度　117件） ・神奈川県主催の移住セミナーをはじめとした様々なイベントやセミナーに参加し、町のＰＲを実施した。 ・町案内や暮らし体験ツアーを14回開催。参加者35人（22組）
分析 Check	・「駅前の居場所」における移住相談を引き続き実施しているほか、湯河原駅前に移住相談ブースを設営するなど、新たな方法での移住相談も実施され、相談の窓口を幅広く持つことができている。
今後の方向性 Action	・「暮らし体験ツアー」などのイベントを年間通じて実施し、物件紹介や先輩移住者との交流など参加希望者のニーズが高いメニューを検討するとともに移住サポーターの参画活動をより深化させ相談体制の拡充を図る。 ・移住イベント等を町内外問わず積極的に情報発信する。 ・移住専任担当の職員を配置し、これまで以上に幅広い情報の発信や移住相談内容の充実などを図る。

総合評価	○	取組の継続

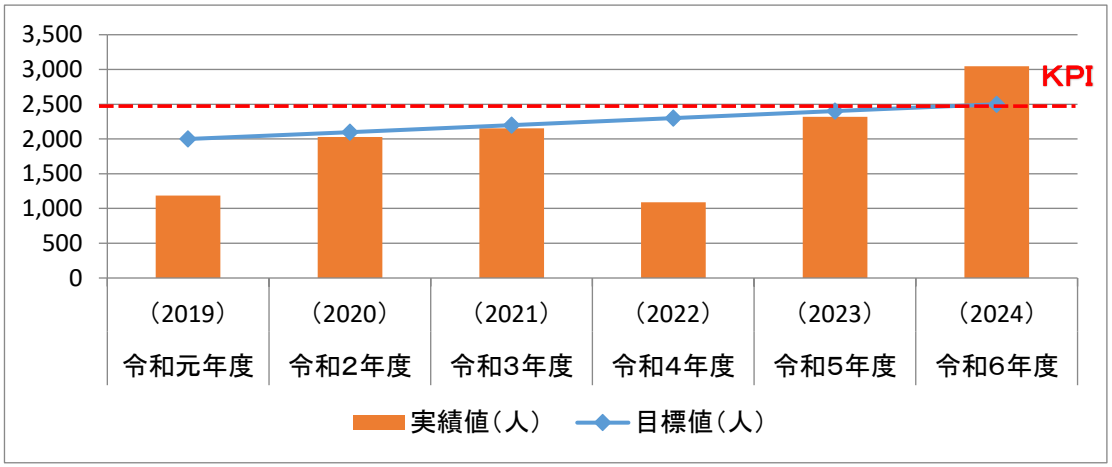
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（２）	かながわ県西空き家バンクポータルサイトの活用	担当課
概要	ポータルサイト「家さが見～かながわ県西うみまち物件ナビ～」への登録を推進するとともに、町ホームページにおいて移住者の感想などを掲載する。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	「家さが見～かながわ県西うみまち物件ナビ～」のアクセス数（月平均）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,431 件
			目標値 令和６年度（2024）	2,500 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	2, 000	2, 100	2, 200	2, 300	2, 400	2, 500
実績値（人）	1, 186	2, 029	2, 155	1, 089	2, 318	3, 045
目標達成率	59%	97%	98%	47%	97%	122%
ＫＰＩ評価	△	◎	○	△	○	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・空き家の利活用について、関係市町及び宅建協会小田原支部と協議。 ・かながわ県西空き家バンクポータルサイトをリニューアルし、家さが見～県西うみまち物件ナビ～として運用を開始した。
分析 Check	・関係市町及び宅建協会小田原支部と連携し取り組むことで効果的な施策を展開する必要がある。 ・空き家の所有者に対し空き家バンクポータルサイトへの物件掲載を促す。
今後の方向性 Action	・家さが見～県西うみまち物件ナビ～のコンテンツを充実させ、利用者の利便性の向上を図る。 ・物件登録数を増やす方策を検討する。

総合評価	○	取組の継続

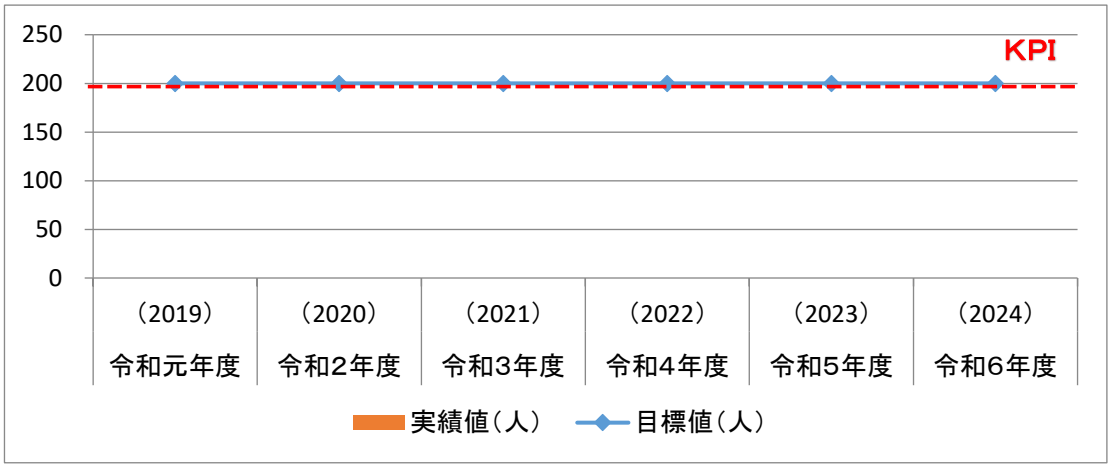
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（３）	お試し移住の促進	担当課
概要	民間宿泊施設や空き家を活用した制度の創設について、空き家の管理や利活用を含め検討していく。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	お試し移住体験者の数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	200 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	200	200	200	200	200	200
実績値（人）	0	0	0	0	0	0
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	0%
ＫＰＩ評価	×	×	×	×	×	×

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	未実施
分析 Check	実施に当たっての十分な検討ができなかった。
今後の方向性 Action	・移住サポーターを含む先輩移住者などとも連携しながら、お試し移住のあり方とその枠組みについて研究する。

総合評価	△	取組の見直し

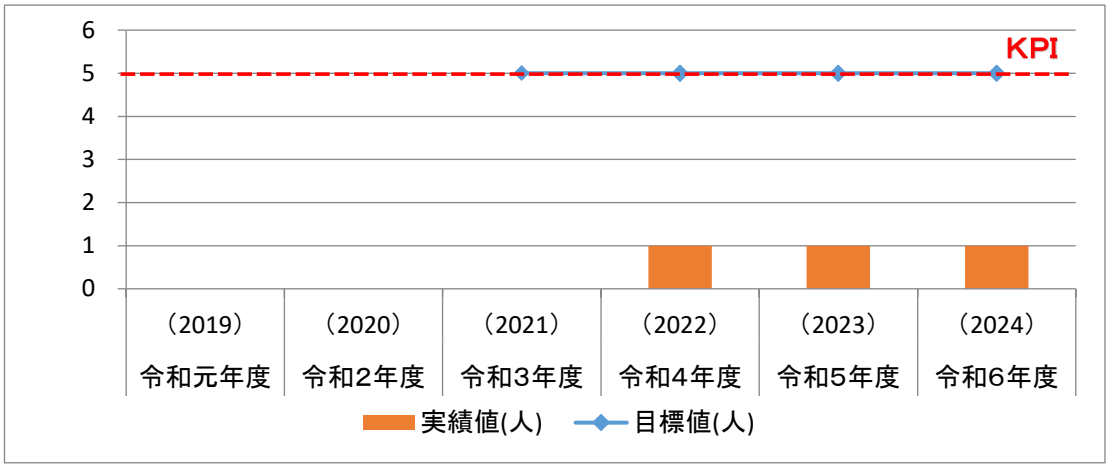
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（４）	休耕地の利活用	担当課
概要	深刻な後継者不足やみかん価格の低迷などにより増加している休耕地を利用し、研修ができる農家の洗い出しや指導農業者の育成をしながら、若い新規就農者やＵターン就農者を受け入れ、農業の活性化を図る。また、人・農地プランを活用し、本町の農業の未来を見据えながら農地の集積・集約に努め、新規就農者などを受け入れやすい農地を広めて行く。	農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	新規就農者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	5 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(人)	－	－	5	5	5	5
実績値(人)	－	－	0	1	1	1
目標達成率	－	－	0%	20%	20	20%
ＫＰＩ評価	－	－	○	○	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・1名の新規就農者が参入した。
分析 Check	・本町の農地は傾斜地が大半を占め、主要な作目が果樹類のため、就農しても数年たたないと収益を得ることができないため、新規就農者が参入しづらい。
今後の方向性 Action	・市場性の高い農産物を作る農業者の育成や指導農業者の　育成を図りながら、新規就農者やＵターン就農者の支援を行う。

総合評価	○	取組の継続

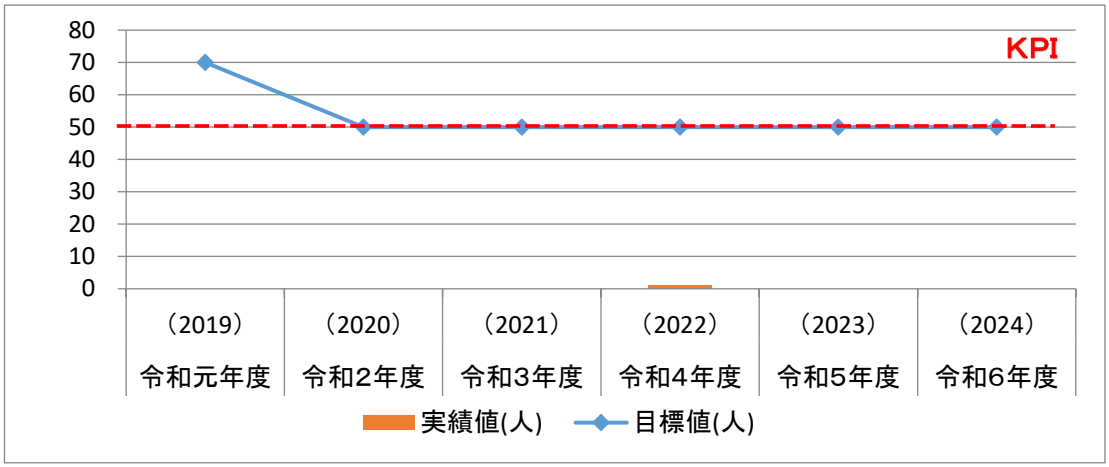
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－２（５）	移住・定住者への補助	担当課
概要	空き家所有者や不動産会社、金融機関と協議・連携しながら、移住者向けの低金利ローンを検討する。	地域政策課

進捗状況				
	ＫＰＩ	制度利用者数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(人)	70	50	50	50	50	50
実績値(人)	---	0	0	1	0	0
目標達成率	---	0%	0%	1%	0	0
ＫＰＩ評価	×	×	×	△	×	×

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・金融機関との連携は引き続き行っていたが、実際の制度利用には繋がっていない。
分析 Check	・移住相談の際に告知するなど、周知の方法を検討する必要がある。
今後の方向性 Action	・移住相談時に周知するなど、効果的かつ適切な周知方法について検討を進める。

総合評価	○	取組の継続

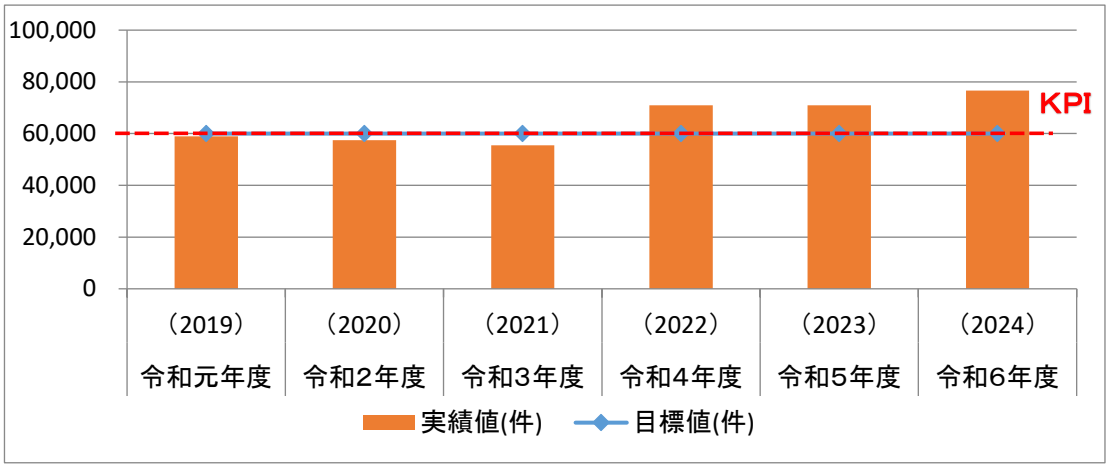
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（１）	湯河原温泉公式ホームページの活用	担当課
概要	湯河原町・商工会・観光協会・旅館協同組合が共同で立ち上げた湯河原温泉公式ホームページを活用し、宿泊施設だけでなく、総合的な観光ホームページとして掲載内容を充実させる。	観光課

進捗状況	ＫＰＩ	アクセス件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	47,876　件
			目標値 令和６年度（2024）	60,000　件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(件)	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000	60, 000
実績値(件)	58, 915	57, 479	55, 435	70, 916	70, 911	76, 629
目標達成率	98%	96%	92%	118%	118%	128%
ＫＰＩ評価	○	△	△	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・湯河原温泉公式サイトに町や各団体の情報を集約させ、観光客目線で情報が取得しやすい環境を維持する。
分析 Check	・サイトへのアクセスが多い時期は２～３月（梅の宴）、５月（さつき、湯かけ）、８月（やっさ、海水浴）とイベントや宿泊ニーズの高いシーズンと比例している。
今後の方向性 Action	・引き続き、湯河原温泉公式サイトに町や各団体の情報を集約させ、観光客目線で情報が取得しやすい環境を維持する。

総合評価	○	取組の継続

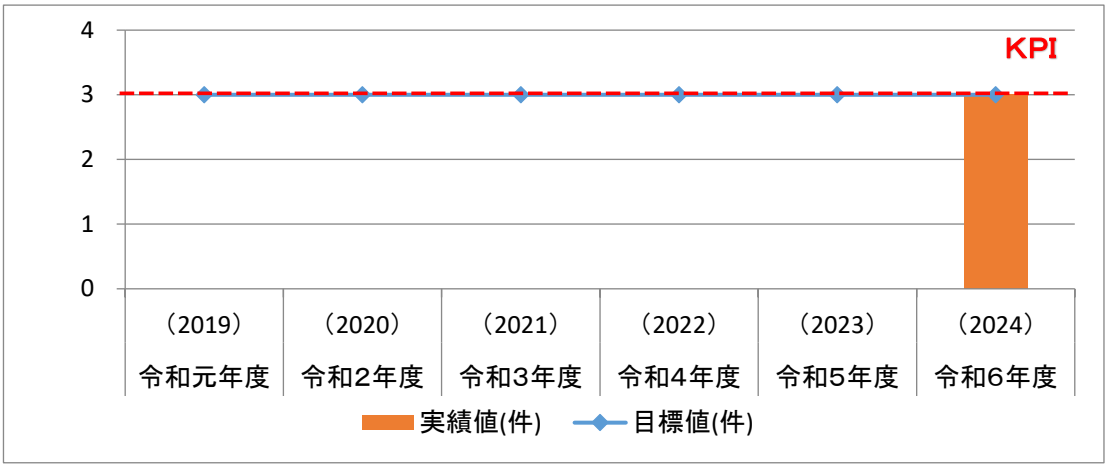
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（２）	合宿等の誘致に向けた情報発信	担当課
概要	地方創生における湯河原町の観光や農林水産分野の取組みについて、大学に情報提供し、ゼミ合宿の誘致を図る。	地域政策課 観光課 農林水産課

進捗状況	ＫＰＩ	誘致による合宿実施数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 件
			目標値 令和６年度（2024）	3 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(件)	3	3	3	3	3	3
実績値(件)	0	0	0	0	0	3
目標達成率	0%	0%	0%	0%	0%	100%
ＫＰＩ評価	×	×	×	×	×	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・明治大学文学部令和６年秋～冬にフィールドワークなどを実施し、12月16日提言発表会を開催 ・國學院大学観光まちづくり学部が令和６年６月にフィールドワークなどを実施し、７月24日に報告会を開催 ・中央大学経済学部が令和７年１月下旬２泊３日のゼミ合宿を実施
分析 Check	・コロナ禍を経て大学において、現地フィールドワークやゼミ合宿を再開しつつあり、実施にあたり連携の打診が増加している。
今後の方向性 Action	・國學院大學とは令和７年３月28日に「湯河原町と國學院大學との相互連携及び協力に関する基本協定」を締結し、引き続き、相互連携を図る。 ・他の大学などの合宿先の検討材料となるため、湯河原町が大学や企業等と連携を実施している事を発信していく。

総合評価	○	取組の継続

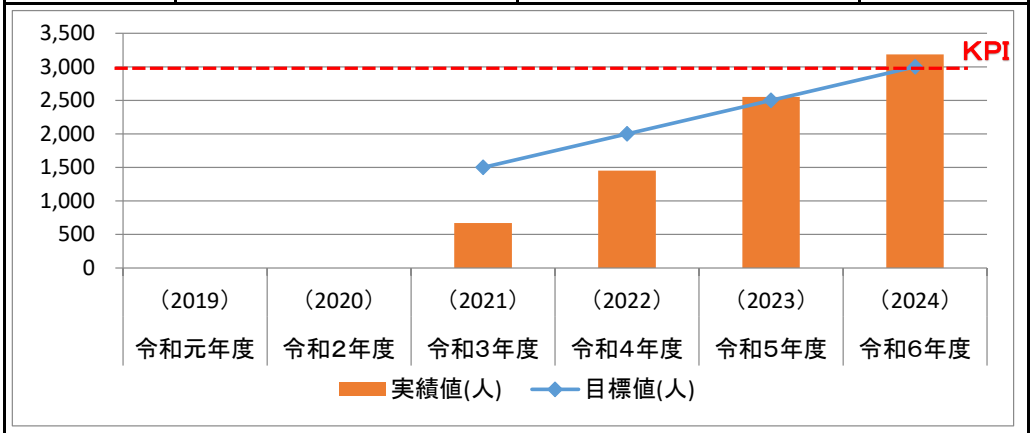
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標２ ２－３（３）	多様な媒体による情報発信	担当課
概要	町ホームページをベースに、LINEなど幅広い世代が利用するＳＮＳ（ソーシャルネットワーク）を活用するなど、新たな周知方法を検討する。また、駅前ＬＥＤ広告や広報紙の配架方法などを検討し、多様な媒体による情報発信を行う。	秘書広報室 観光課 デジタル推進室

進捗状況	ＫＰＩ	ＳＮＳ登録者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	3,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値(人)	－	－	1,500	2,000	2,500	3,000
実績値(人)	－	－	669	1,452	2,552	3,186
目標達成率	－	－	45%	73%	102%	106%
ＫＰＩ評価	－	－	△	△	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・「広報ゆがわら」（新聞折込や町内54か所に配架）や、コミュニティラジオ（(株)エフエム熱海湯河原へ委託）、データ放送（(株)テレビ神奈川（tvk・３ch））による情報発信を、令和５年度同様に実施。 ・町公式LINEの「お友だち登録」の呼びかけを、転入者向け封筒に印刷しているほか、役場内各窓口へのチラシの掲示、町民カレンダー広告枠や、広報の表紙を活用して実施。 ・（株）エフエム熱海湯河原が活用するラジオアプリ「レディモ」のシステム連携により、熱海・湯河原エリアのメルマガを選択してプッシュ通知方式により配信。（令和４年10月より開始） ・町公式InstagramをFacebookと連携させる形で開始し、町の情報やイベント情報などの発信を実施。(令和６年11月より開始) ・町公式Instagramの開設を、メルマガ、町広報を活用し周知を図った。 ・実績値は、町公式LINE(2,706人)・町公式Instagram(441人)・町公式Facebook(39人) ・観光情報については、「kanko_yugawara」(インスタ)にて観光情報の発信を、「visityugawaraonsen」にて日本語・英語・タイ語の観光情報発信を実施
分析 Check	・町公式LINEの「お友だち登録」の呼びかけを、転入者へ案内しているほか、役場内各窓口へのチラシの掲示や、町民カレンダー広告枠、広報の表紙を活用したことで、広く町民の目につきやすくなったと考える。 ・町公式LINEだけでなく、町公式Instagram、Facebookを開始したことにより、情報発信ツールが増え目標値を達成したと考える。 ・「kanko_yugawara」フォロワー234　「visityugawaraonsen」フォロワー1033
今後の方向性 Action	・インターネット、スマートフォンの普及、人口減少や新聞購読者数の減少など社会的情勢が変化する中で、広報ゆがわらの発行部数や配布・配架方法について引き続き検討するとともに、今後の広報紙のあり方について研究していく必要がある。 ・様々な媒体による情報発信をしていくよう各課と調整を行うとともに、その情報の取得方法について町民等へ周知をしていく。 ・庁内各課で町公式Instagramの利用周知を行い、リアルタイムで写真や動画による視覚的な投稿をすることで文字だけでは伝えられない発信をする。 ・より多くのフォロワーの獲得と来町につながる魅力的な投稿を検討する必要がある。

総合評価	○	取組の継続

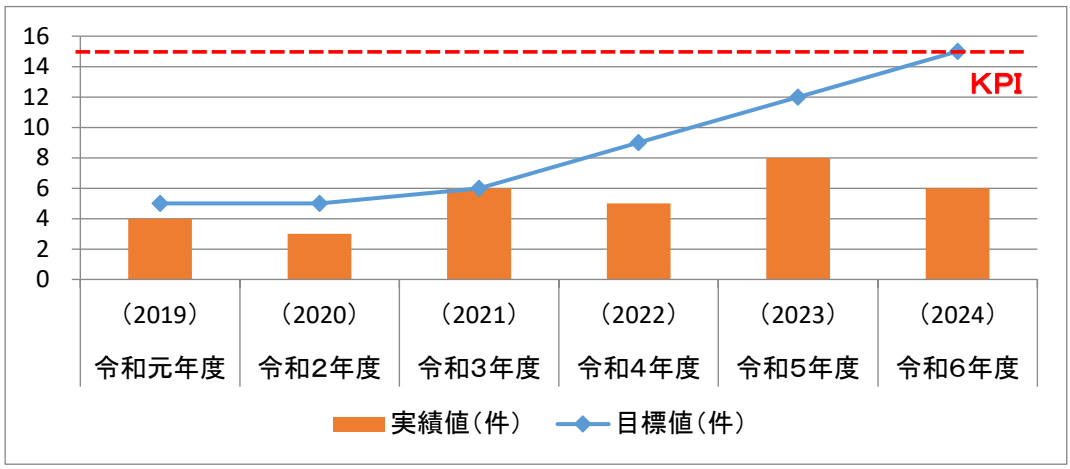
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－１（１）	結婚祝い金の支給	担当課
概要	湯河原町に住所を有する男女の結婚を奨励祝福し結婚祝い金を支給することにより、結婚に伴う経済的負担を軽減し、湯河原町への定着化を図り、少子化対策を推進する。	住民課

進捗状況	ＫＰＩ	結婚祝い金支給件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	４ 件
			目標値 令和６年度（2024）	15 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	5	5	6	9	12	15
実績値（件）	4	3	6	5	8	6
目標達成率	80%	60%	100%	56%	67%	40
ＫＰＩ評価	○	△	◎	○	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・支給件数６件 ・窓口において、パンフレットの配布と制度の説明を行っている。 ・町のホームページ、広報ゆがわら、地方紙を活用し、事業の周知を行っている。
分析 Check	夫婦共働きの場合は所得要件で非該当となる場合がある。若い世代では、親と同居をしているため家を購入したり賃貸住宅に入居したりしないこともあり、引越しについても業者に依頼せず自分達で行うなど、支給要件に該当しないケースが多い。
今後の方向性 Action	・国の補助金（補助率２／３）、県の補助金（補助率１／６）を活用し、実施する。 ・湯河原町への定着化を図ることを目的のひとつとしていることから、申請書に、申請の日から２年以上継続して湯河原町に居住する意思があることの確認欄を加える。 ・引き続き広く事業の周知を図る。

総合評価	○	取組の継続

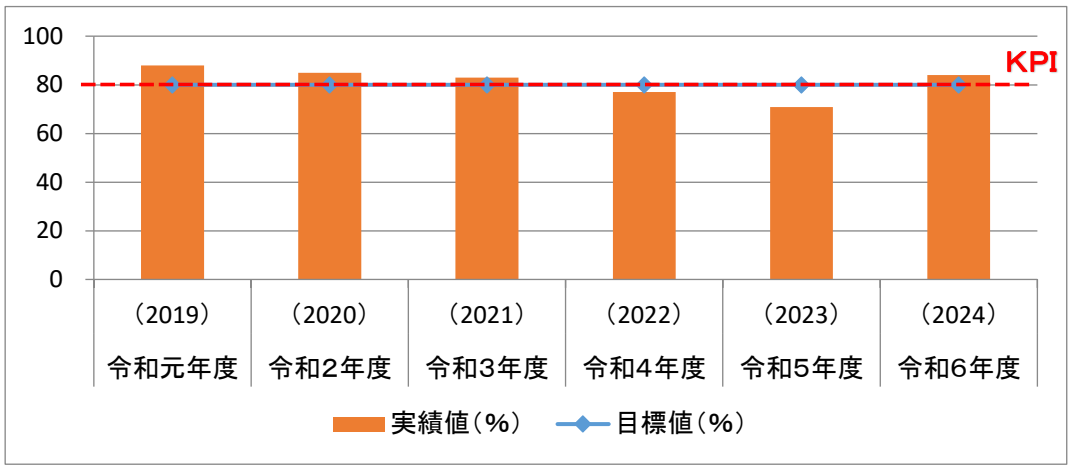
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－２（１）	安心して子どもを産める環境の整備	担当課
概要	町内への産科医誘致、広域での充実など、あらゆる方策を検討し、若い世代が安心して妊娠、出産と子育てができる環境づくりに努め、結婚世代の定住促進と出生率の向上を図る。	保健センター 消防本部

進捗状況	ＫＰＩ	マタニティサポート登録数／母子手帳発行数（里帰り登録含む）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	77 %
			目標値 令和６年度（2024）	80 %



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（%）	80	80	80	80	80	80
実績値（%）	88	85	83	77	71	84
目標達成率	110%	106%	104%	96%	89%	105%
ＫＰＩ評価	◎	○	◎	○	○	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	＜妊娠届出数とマタニティサポート登録者数の推移＞ ・妊娠届出数　令和４年度：69件　令和５年度：75件　令和６年度：69件 ・マタニティサポート登録者数 令和４年度：62件　令和５年度：66件　令和６年度：65件 ・搬送数　令和４年度：19件　令和５年度：16件　令和６年度：17件
分析 Check	妊娠届出をした人で里帰りする妊婦以外はほぼ登録した。
今後の方向性 Action	母子手帳交付の面談時にマタニティサポートについて説明し登録を促していく。

総合評価	○	取組継続

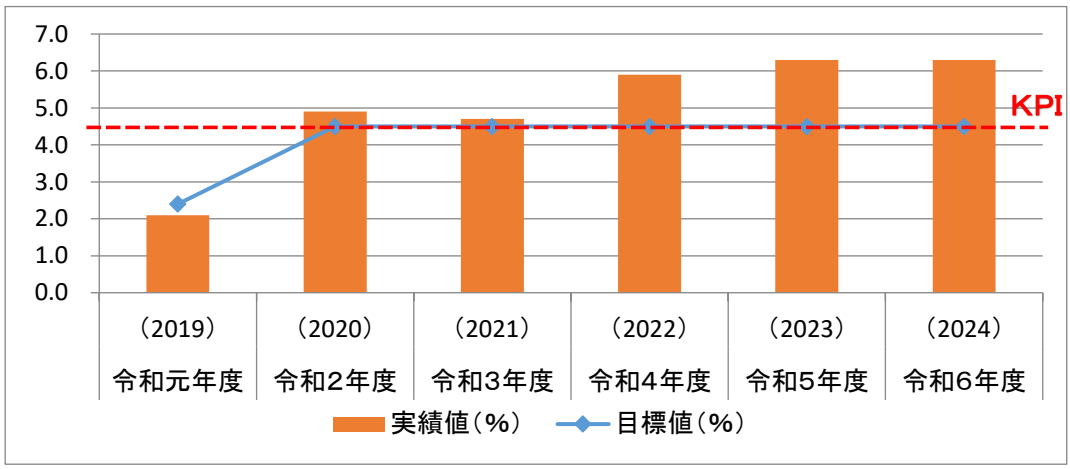
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－２（２）	妊娠、出産へ向けた支援体制	担当課
概要	妊産婦やその家族が安心して出産、育児に向かうことができるよう教室や訪問等による支援体制の充実を図る。	保健センター こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	１人あたり妊産婦・乳幼児訪問回数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	2.4 回
			目標値 令和６年度（2024）	4.5 回



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（%）	2.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
実績値（%）	2.1	4.9	4.7	5.9	6.3	6.3
目標達成率	88%	109%	104%	131%	140%	140%
ＫＰＩ評価	○	○	○	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・妊婦訪問実績　令和４年：71件　令和５年：61件　令和６年：52件 ・ウェルカムベイビー教室　令和４年：実22名　延40件　令和５年：実26名　延50件 令和６年：実29名　延53件 ・こんにちは赤ちゃん訪問　令和４年：実80件　延131件　令和５年：実68件　延131件 令和６年：実66件　延107件 ・子育て支援センター業務実績（令和６年度実績） 心理相談　14件、子育て相談　273件、赤ちゃんタイム　36人、おはなし会　110人
分析 Check	・妊婦訪問について、妊婦訪問前の転出や流早産により訪問が不要になったことで、訪問数が減少した。 ・ウェルカムベイビー教室について、母子手帳交付時に教室の案内をしたこと、家族の妊婦体験の周知がされたことで父親の参加率が高まった。 ・こんにちは赤ちゃん訪問について、令和６年度は１件あたり1.6回の訪問となった。 ・育児不安や子育てにストレスを感じる母親への支援を行うため、子育てに関する相談、指導、情報提供を実施する。
今後の方向性 Action	・精神疾患を持つ妊産婦が増加傾向にある。産前産後は精神的に不安定になりやすいため、対象に合わせて訪問する回数と、訪問する専門職種を調整していく。 ・今後も講座等を開催し、母親へ支援を継続して行っていく。

総合評価	○	取組の継続

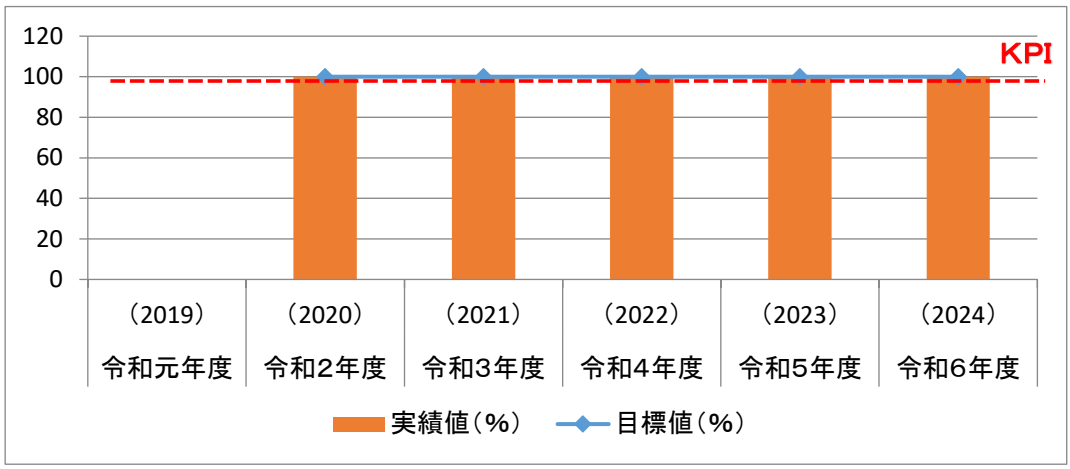
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－２（３）	切れ目のない財政支援	担当課
概要	妊娠、出産、子育てに係る経済的負担を軽減するための支援を強化する。	こども支援課 保健センター 学校教育課

進捗状況				
	ＫＰＩ	子育て支援紙おむつ等の支給率	実施値 令和２年度（2020）	100 %
			目標値 令和６年度（2024）	100 %



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（%）	－	100	100	100	100	100
実績値（%）	－	100	100	100	100	100
目標達成率	－	100%	100%	100%	100%	100%
ＫＰＩ評価	－	○	○	○	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・不育症治療費助成　令和４年度：１件　令和５年度：０件　令和６年度：０件 ・新入学祝金実績　令和６年度新小学一年生　76件　新中学一年生　162件 令和７年度新小学一年生　86件　新中学一年生　117件 ・子育て支援紙おむつ等支援事業　令和５年度　66件　令和６年度　64件 ※令和５年度10月から限度額を5,000円から7,000円に引き上げ ・高校生通学定期券購入費補助事業　令和５年度　372件　令和６年度　369件
分析 Check	・不育症治療費助成について、令和４年度～令和６年度申請なしの状況を踏まえ、原因のひとつに申請者の所得制限にあると考察した。 ・子育て応援の一環として、義務教育年限内における新入学児童・生徒に対し、入学をお祝いするとともに、ランドセルの購入や制服の購入を支援するとともに健やかな育成を願う。令和５年度に続き、令和６年度も支給率100%となっている。 ・乳児を養育する家庭へ宅配によるオムツ等を支給することにより、子育てしやすい環境づくりに向けて、子育て世帯の経済的負担軽減を図るとともに、安心して子どもを産み育て、次世代を担う子どもの健やかな成長を町全体で応援することを目的とするもので、継続して実施する必要がある。 ・湯河原町から公共交通機関を利用して高等学校等へ通学されている方の通学定期券購入にかかる費用の一部、児童一人につき、年間20,000円を助成し、高校生世帯の経済的負担の軽減を図ることを目的とし、通学費用を理由に希望する学びを諦めることがないように継続して実施していく必要がある。
今後の方向性 Action	・不育症治療費助成については令和７年度から所得制限廃止とする。 ・制度の周知に努めながら、継続して実施していく。 ・利用者のニーズに対応し、安定して助成事業となるよう実施する。

総合評価	○	取組の継続

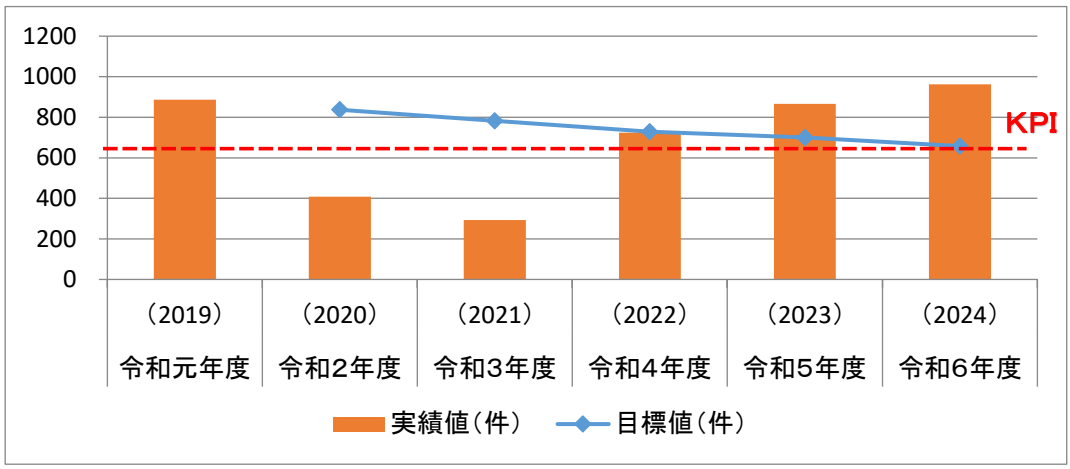
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（１）	ファミリーサポートセンターの活用促進	担当課
概要	子育て中の家庭を地域で応援していくため、育児の援助を受けたい人と援助を行いたい人とがお互いに助け合う、子育ての相互援助活動を推進する。	こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	年間活動件数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	702 件
			目標値 令和６年度（2024）	657 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	－	837	782	728	701	657
実績値（件）	887	409	293	724	866	962
目標達成率	－	49%	37%	99%	124%	146%
ＫＰＩ評価	－	○	◎	○	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	会員数 ファミリー会員：140人、サポート会員：83人　　合計223人 活動件数：962件
分析 Check	・保育園、学童保育等の送迎や習い事の送迎、学校行事や冠婚葬祭などの預かり、産前産後の家事支援や沐浴の手伝いなど、子育ての相互援助活動を実施しているが、保育士施設や学童保育、塾への送迎など１時間未満の利用が全体の85%を占めている。 ・令和４年度から援助対象を小学校６年生までから中学校３年生までに拡大（中学生の援助は送迎のみ）
今後の方向性 Action	利用のニーズが高まってきているので、サポート体制の充実に努める。

総合評価	○	取組の継続

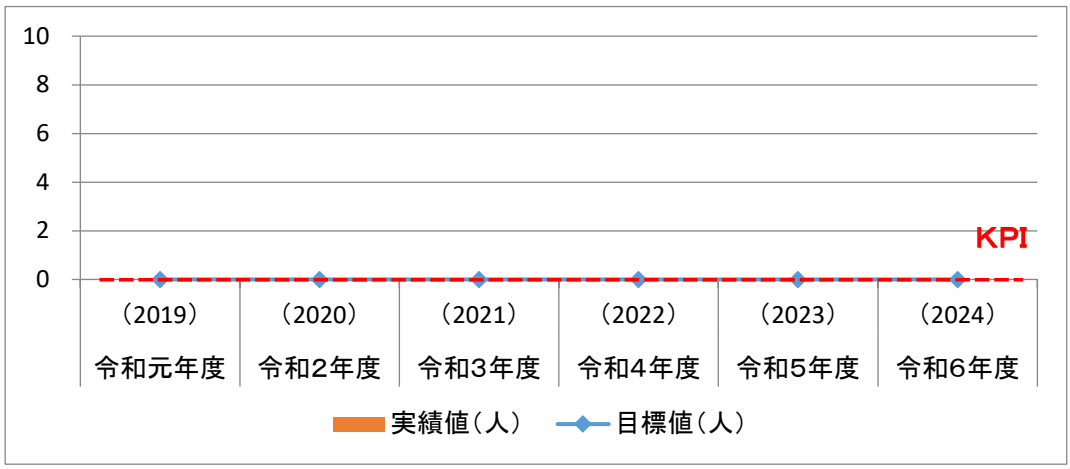
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（２）	利用しやすい保育所の運営	担当課
概要	核家族や夫婦共働きの家族が増加している中で、安心して子どもを預けることのできる保育所として預かり時間の延長や一時保育、０歳児の受入を実施し、保護者が仕事を辞めずに育児ができるよう支援する。	こども支援課

進捗状況	ＫＰＩ	保育所入所待機児童数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	０人
			目標値 令和６年度（2024）	０人



	令和元年度（2019）	令和２年度（2020）	令和３年度（2021）	令和４年度（2022）	令和５年度（2023）	令和６年度（2024）
目標値（人）	0	0	0	0	0	0
実績値（人）	0	0	0	0	0	0
目標達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%
ＫＰＩ評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値（開始時）と同等、△基準値（開始時）未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	入園調整及び職員配置の見直しを行い、待機児童０を継続した。
分析 Check	保護者の就労状況、兄弟姉妹在園の有無、園との距離、学区及び送迎の状況など勘案し、応募状況に合わせたクラス編成をするなどして調整し、入園を決定することができたが、今後も働き方改革に留意する必要がある。
今後の方向性 Action	・利用者の多様なニーズに対応し、安心安全な保育所の運営を実施する。 ・保育士の確保に努め、待機児童０の継続を図る。

総合評価	○	取組の継続

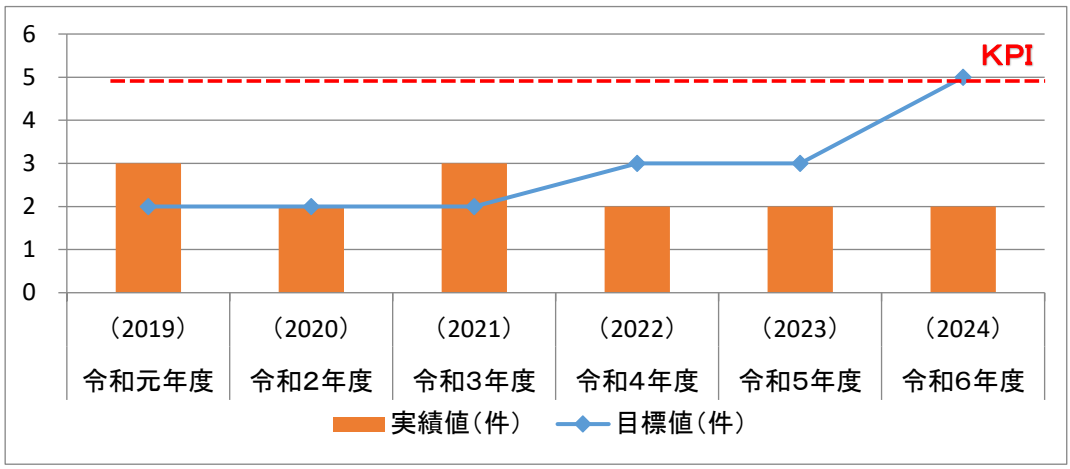
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見		

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（３）	教育環境の整備	担当課
概要	情報教育の充実や先進的な外国語教育の推進など、小中学校における教育レベルの向上を図り、魅力ある学校づくりを進めるとともに、確かな学力と自ら学び自ら考える「生きる力」を育む教育を推進する。	学校教育課

進捗状況	ＫＰＩ	小中学校の交流事業数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	２ 件
			目標値 令和６年度（2024）	５ 件



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	2	2	2	3	3	5
実績値（件）	3	2	3	2	2	2
目標達成率	150%	100%	150%	67%	67%	40%
ＫＰＩ評価	◎	○	◎	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・小中学校間での交流として子どもフォーラムを３回実施し、そのうちの２回で小中学生の交流がもてた。また、夏休みのラジオ体操については、参加の奨励を継続した。 ・令和２年度末よりＧＩＧＡスクール構想を推進しており、現在、小中学校４校では一人に１台の教育用情報端末（クロムブック）を貸し出し、ＩＣＴ教育の整備及び推進に取り組んでいる。また、端末を自宅に持ち帰って学習する際に、各家庭の通信環境に左右されないようLTE回線（電話回線）を整備している。 ・ＩＣＴ教育においては、個別最適化学習の観点から、学校に来ることができない児童とのつながりを絶やすことがないよう、タブレット端末を活用することにも力を入れている。 ・理科教育設備整備事業として、国庫補助金（理科教育設備整備費等補助金）を活用しながら、小中学校に理科教育設備等の整備を行った。 ・学校遊具・体育器具等整備事業として、湯河原小学校においては４間鉄棒の修繕を実施し、吉浜小学校及び東台福浦小学校においては、滑り台や鉄棒など、遊具・体育器具の撤去更新工事を実施した。
分析 Check	・教育環境の整備については、各事業の進捗や優先度を勘案しながら進めるとともに、教育現場の意見を取り入れ整備を推進していくことが必要である。
今後の方向性 Action	・今後も各学校の意見を聞き連携を図りながら、それぞれの学校に適した教育環境の整備が必要である。 ・ＰＴＡ、地域の方々及び教職員で組織した学校運営協議会の設置を促進し、地域との組織的な連携・協働体制を継続できる体制を構築し運営していく。

総合評価	○	取組の継続

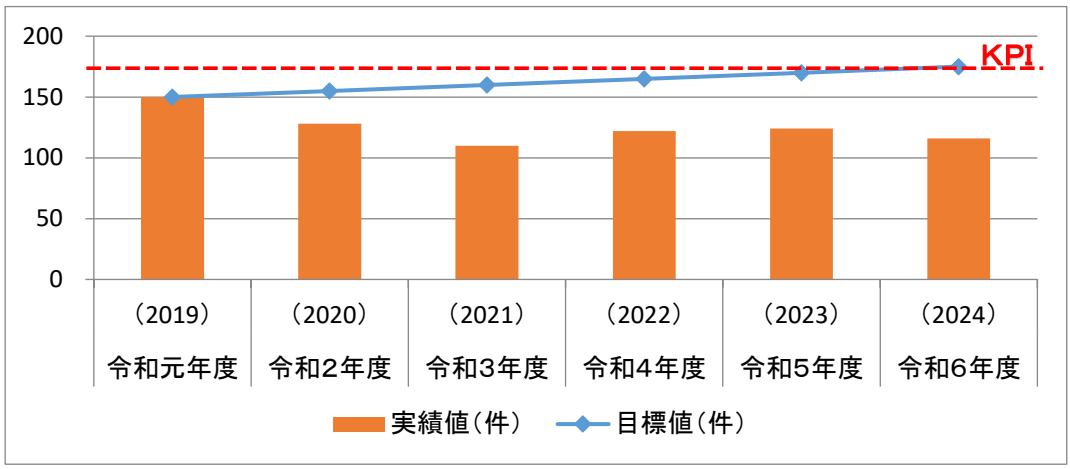
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標３ ３－３（４）	学童保育所や子ども教室の活用	担当課
概要	保護者が仕事をしながら子育てができるよう、「学童保育所」や「放課後子ども教室」を開設し、放課後の子どもの安全で健やかな活動場所を確保するとともに、異なった年齢集団の中で社会性を身に着け一人ひとりの子どもたちが健全に成長するよう手助けする。	社会教育課

進捗状況	ＫＰＩ	放課後子ども教室登録児童数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	125 人
			目標値 令和６年度（2024）	175 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（件）	150	155	160	165	170	175
実績値（件）	150	128	110	122	124	116
目標達成率	100%	83%	69%	74%	73%	66%
ＫＰＩ評価	○	○	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・放課後子ども教室については、３小学校において、コーディネーター及び活動推進員が中心となり活動内容を企画し、活動サポーターも加わることで見守りを行っている。宿題やドリル学習のほか様々な体験学習に取り組んでいる。
分析 Check	・高学年になると児童数が減少する傾向にあるが、学習等の取組や体験学習を工夫することで、高学年の参加が増えている教室もある。
今後の方向性 Action	・引き続き、学童保育所や子ども教室の安全・安心な運営を行う必要がある。 ・高学年の児童も参加したくなるような学習や体験学習を織り交ぜることや、様々な地域住民の協力を得ることなど工夫いただくことで、各教室の特色ある取組を検討する必要がある。

総合評価	○	取組の継続

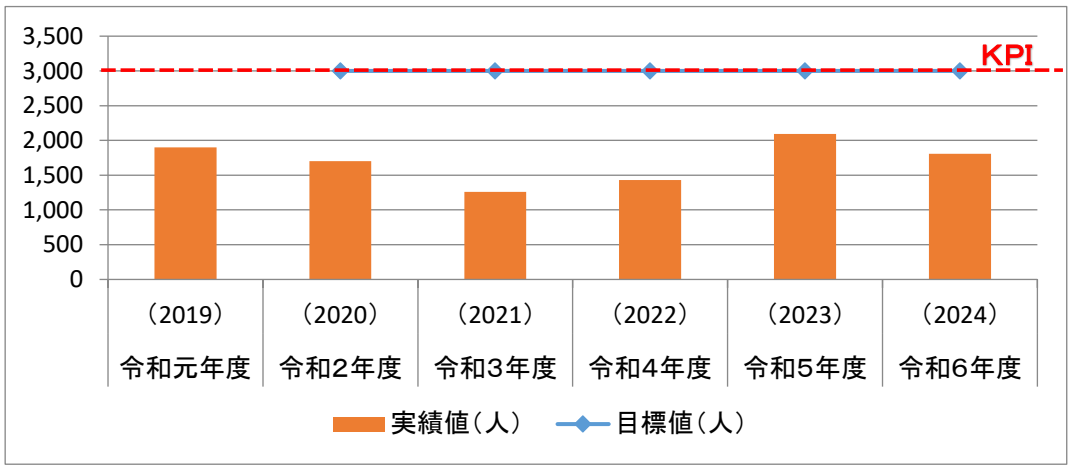
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－１（１）	多世代交流による若者の人口減少抑制	担当課
概要	子どもたちの学習支援を目的に、地域の高齢者ボランティアや大学生を講師とした学習支援を実施し、すべての子どもに包括的かつ公平で質の高い学びの場を提供しながら、様々な世代が安心して集える多世代の居場所空間づくりを実施する。	こども支援課 地域政策課 介護課

進捗状況	ＫＰＩ	「ゆがわらっことつくる多世代の居場所」来所者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	2,359 人
			目標値 令和６年度（2024）	3,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000
実績値（人）	1, 902	1, 703	1, 259	1, 430	2, 091	1, 808
目標達成率	－	58%	36%	48%	70%	60%
ＫＰＩ評価	－	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	講座開催事業・学習サポート事業1, 808人
分析 Check	令和５年度は、コロナが５類に移行したことにより、利用者の回復につながったが、令和６年度は酷暑により、夏時期の利用者が大幅に減少したことにより、前年度を下回った。
今後の方向性 Action	・地域の他団体とも協力をしあいながら、町内の多世代が安心して過ごすことができる場の創出をする。 ・多世代の居場所を立ち上げた頃の小学生が、高校生や大学生になり、居場所の学生スタッフとして戻ってきているので、これからも子どもや若い世代とともに多世代の居場所を育て、来所者数の増加に向けて取り組んでいく。

総合評価	○	取組の継続

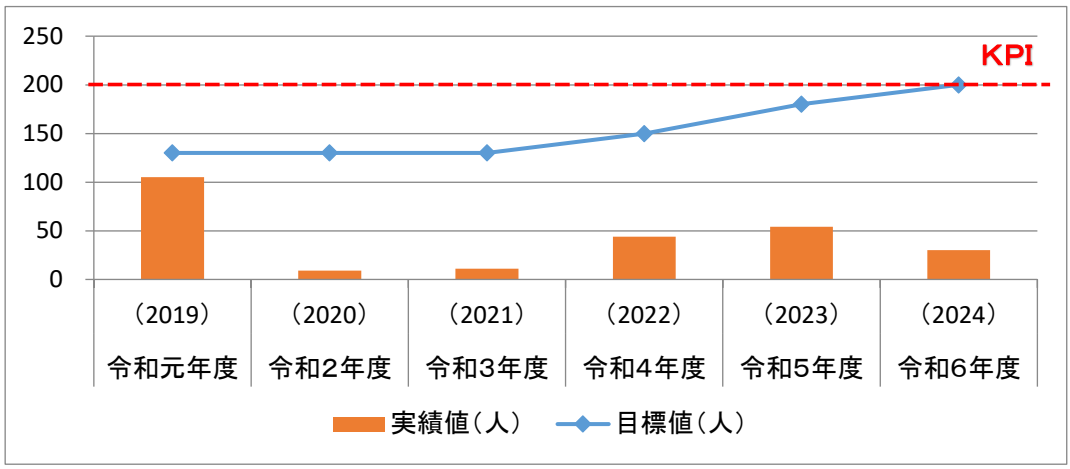
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－１（２）	子どもフォーラムの開催	担当課
概要	小学生、中学生、保護者、教職員、地域の方々などの幅広い参加のもと、目標実現のための話し合い活動や交流を深めるためのアクティビティを実施し、「笑顔あふれる最高の楽校（がっこう）」の実現を目指す。	学校教育課

進捗状況	ＫＰＩ	フォーラム参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	108 人
			目標値 令和６年度（2024）	200 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	130	130	130	150	180	200
実績値（人）	105	9	11	44	54	30
目標達成率	81%	7%	14%	29%	30%	15%
ＫＰＩ評価	△	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・子どもフォーラムは、「ゆがわらっこ（湯河原町在住の児童・生徒のこと）」による活動の場を設定することで、小・小の連携や小・中の接続を意識した取組を行うことを目的としている。 ・令和６年度は、「防災ロゲイニング」及び「何でもバスケット」（アイスブレーキング）、室内アクティビティとして、ユニバーサルスポーツ「ボッチャ」、「モルック」のほか「幸せって何だろう」「湯河原の特産品」などのダイアログを実施した。 ・小・中学生時代に参加した経験のある高校生がOBとして参加するなど、小学生から高校生までのつながりを持つことができ、事業目的である「小・中の接続」に加え、児童・生徒の連携により好ましい傾向が見られた。
分析 Check	・令和２年度までは、児童生徒が主体となって活動テーマを決定していたが、令和３年度から事務局で実施内容を決定し、参加者を募る方式をとっている。 ・参加者数が伸び悩んでいるため、実施回数や内容について検討していく必要がある。
今後の方向性 Action	・「笑顔あふれる最高の“楽校”（平成23年度湯河原町子どもフォーラム宣言）」を実現するため、来年度以降は、内容や開催時期について再考し、本事業の在り方そのものについて検討する。

総合評価	△	取組の見直し

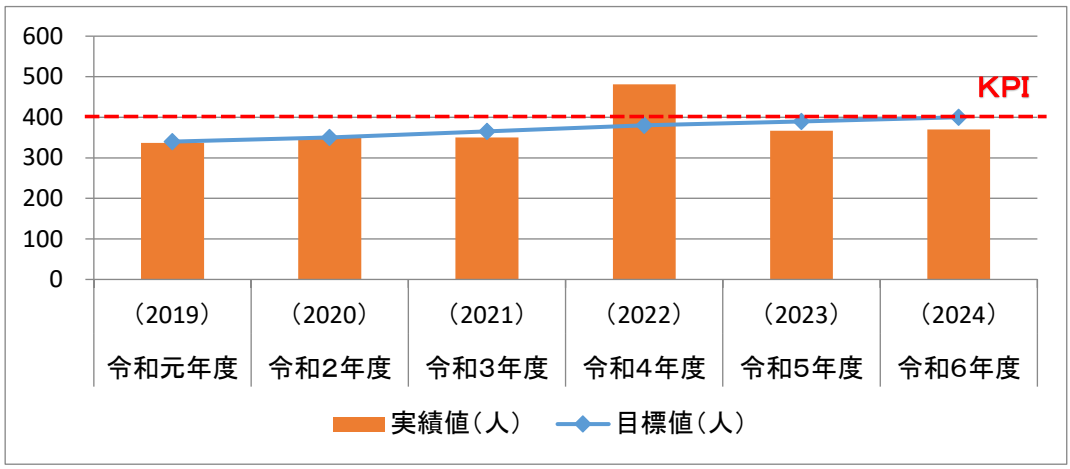
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－１（３）	外国人住民との交流推進	担当課
概要	民間の国際交流団体と連携し、外国籍住民が湯河原町で安心して暮らしていけるような地域づくりと、インバウンド対策としての外国語に対応できる人材の育成等の取り組みを検討・実施する。	地域政策課

進捗状況	ＫＰＩ	外国籍住民数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	326 人
			目標値 令和６年度（2024）	400 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	340	350	365	380	390	400
実績値（人）	337	349	350	481	367	370
目標達成率	99%	99%	96%	127%	94%	93%
ＫＰＩ評価	○	○	○	◎	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・外国籍住民相談員14名が所属。 ・令和6年度の外国籍住民相談の実績は０件。 ・外国籍住民との異文化交流・情報の共有の場として実施した「地球民ラウンジ」では、日々の生活相談や言語翻訳、日本語学習に関する相談などを受け付けた。
分析 Check	・外国籍住民相談だけでなく、民間の国際交流協会と連携することで、気軽に相談することができる環境整備を整えることができた。
今後の方向性 Action	・各相談事業を引き続き実施する。

総合評価	○	取組の継続

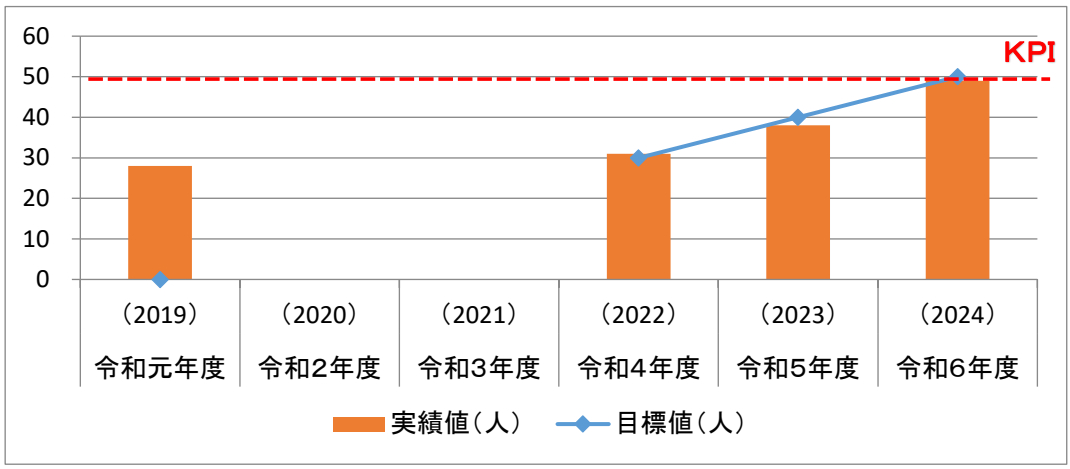
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（１）	「未病を改善する」取組の推進	担当課
概要	神奈川県と湯河原町を含む県西地域の２市８町で連携し、神奈川県が第1期県西地域活性化プロジェクトに位置づけている「未病を改善する」取組を促進するため、湯河原の恵まれた地域資源を活用し「温泉」「運動」「食事」「自然」「芸術」を取り入れた健康づくりにより、地域の活性化と地域住民の健康寿命の延伸を図る。	地域政策課 保健センター 介護課

進捗状況	ＫＰＩ	フレイルサポーターの養成数（累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	28 人
			目標値 令和６年度（2024）	50 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	－	－	－	30	40	50
実績値（人）	28	－	－	31	38	49
目標達成率	－	－	－	103%	95%	98%
ＫＰＩ評価	◎	△	△	◎	○	○

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和６年度は、フレイルサポーター養成講座を２回（２日間コース）を行い、合計11名養成し、フレイル予防の普及啓発活動・フレイルチェックの補助を行っている。 ・健康関連事業の際に、未病普及啓発ノベルティグッズ配布を実施。
分析 Check	・養成講座回数の増及び、フレイルの周知活動として、サポーターオリジナルチラシやフレイルオリジナルソングの作成、町の行事や老人クラブ等が集まる場においてフレイルを普及したことや、フレイルチェックの回数を増やしサポーターの活躍の場を広めたこと等により、フレイルが浸透しつつある。 ・県から提供を受ける未病啓発グッズの配布により、未病の普及啓発に取組んだ。
今後の方向性 Action	・町民にフレイル予防の重要性を周知し、サポーター活動に参加しやすい環境を作れるように周知・啓発を引き続き行う。また、幅広い世代に対してのサポーター確保について検討していく。 ・機会を捉えて、未病の考え方や取り組みについて普及・啓発を進めていく。

総合評価	◎	取組の深化、発展

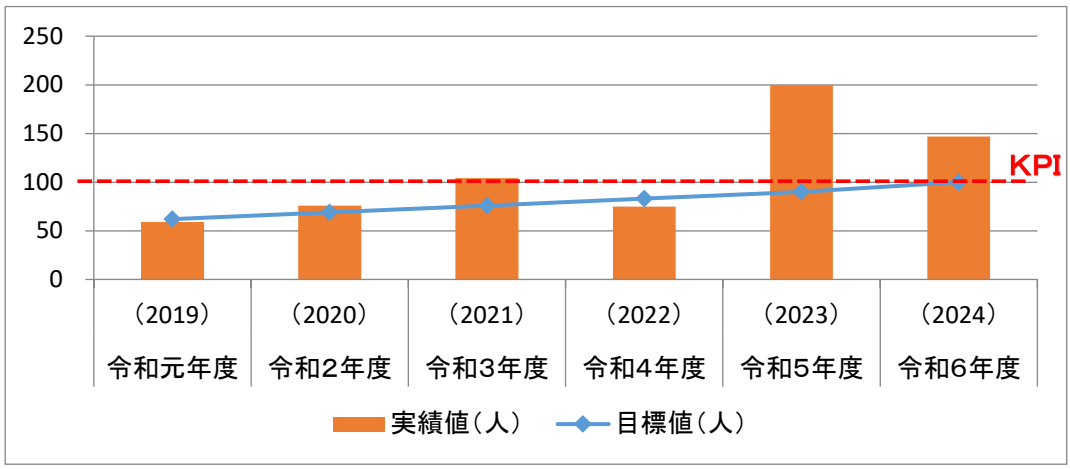
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（２）	介護予防サポーターの育成	担当課
概要	多様化する高齢者に対応した医療介護連携の体制や認知症施策の推進、生活支援体制整備などを網羅した地域包括ケアシステムの構築に向けて、町民の理解、協力を得ながら更なる拡充を図る。	介護課

進捗状況	ＫＰＩ	介護予防サポーター数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	55 人
			目標値 令和６年度（2024）	100 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	62	69	76	83	90	100
実績値（人）	59	76	104	75	200	147
目標達成率	95%	110%	137%	90%	222%	147%
ＫＰＩ評価	△	◎	◎	△	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・認知症サポーター養成講座（年６回） ・認知症サポーター養成講座においては、湯河原中学校において、中学三年生を対象に「認知症の知識を学ぶ」授業として、「認知症サポーター養成講座」を開催した。 ・現在活動中の介護予防サポーター等を対象に、フォローアップ講座を開催した。（３回）
分析 Check	・学校教育の一環として継続的に実施していくことで、若い世代から認知症に対する意識の醸成を図り、認知症に関する知識と理解を深めることができた。 ・高齢者のサポーターがいくつものボランティアを兼ねている状況であるため、新規ボランティアの拡充が望まれる。
今後の方向性 Action	・小中学生に対する認知症教育の実施に向け調整・検討を行う。 ・引き続き、認知症の方やその家族を温かく見守る理解者・応援者として認知症サポーターを養成する。 ・住民主体によるサービスが継続して実施できるよう、サポーターのフォローアップ講座や介護予防サポーター養成講座の実施、生活支援コーディネーターと連携して、サポーター活動を支援していく。

総合評価	◎	取組の深化・発展

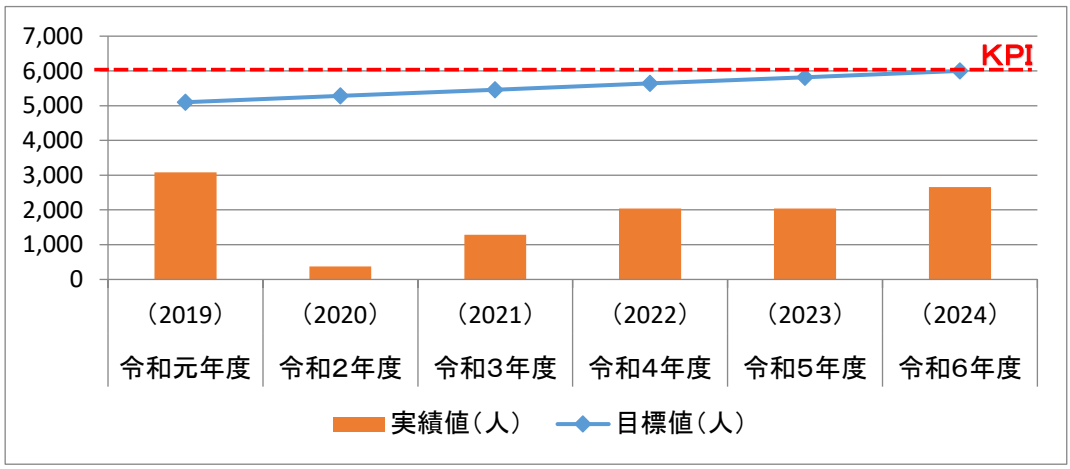
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（３）	趣味、サークル活動の推進	担当課
概要	高齢者を対象とした健康・介護予防教室の開催、趣味・サークル団体の案内などを充実させ、併せて、障がい者のサークル活動やボランティア活動の周知を行い、社会参加を促すことで生きがいの創出へつなげる。	介護課 社会福祉課

進捗状況	ＫＰＩ	高齢者を対象とした活動の参加者数（年間累計）	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	4,919 人
			目標値 令和６年度（2024）	6,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	5, 099	5, 279	5, 459	5, 639	5, 819	6, 000
実績値（人）	3, 083	370	1, 286	2, 039	2, 043	2, 661
目標達成率	60%	7%	24%	36%	35%	44%
ＫＰＩ評価	△	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・手話奉仕員養成講座（基礎課程）を開催し、手話に対する知識や理解を深めるとともに、講座の中において、手話サークルや各種福祉ボランティア等に関する情報提供を行った。 ※手話奉仕員養成講座参加者(令和６年度:15名、令和５年度:25名、令和４年度:15名) グループリビング（延722人）、布ぞうり教室（延223人）、手づくりを楽しもう会（延285人）、公園体操・体育館体操（延379人）、頭の体操教室（iPad）（延70人）、頭の体操教室（もの忘れ予防）（延93人）げんき応援教室（延212人）、お口の健康教室（7人）、転倒予防教室（延54人）、ふれあい料理教室（9人）、かんたんスマホ教室（248人）、フレイルチェック（延76人）、人生これからだ！いがく（延216人）介護予防のための「元気なあしたへ」講座（延30人）、新たに口腔機能の維持及び認知症予防に効果のある健康カラオケ（延37人）を開催した。
分析 Check	・引き続き、手話奉仕員養成講座（基礎課程）を開催するとともに、福祉に関連するサークルやボランティア活動に関する情報の共有を図っていく必要がある。 ・令和６年度は、７月～９月は公園体操を体育館で行ったことにより、前年と比べ参加人数の増につながった。 ・運動教室については、比較的参加人数が定数近くと安定しているが、口腔機能教室及び栄養教室の参加人数の確保が厳しい状況となっている。
今後の方向性 Action	・町主催の講座や「ゆがわら趣味百選」、サークルから発信される情報などを活用し、様々なサークル、ボランティアの活動への参加を促す。 ・計画的な事業の開催及び参加率の低い教室については、内容の見直しまたは統合を図る。 ・引き続き、男性の参加者が増加となるよう周知及び内容について検討する。

総合評価	△	取組の見直し

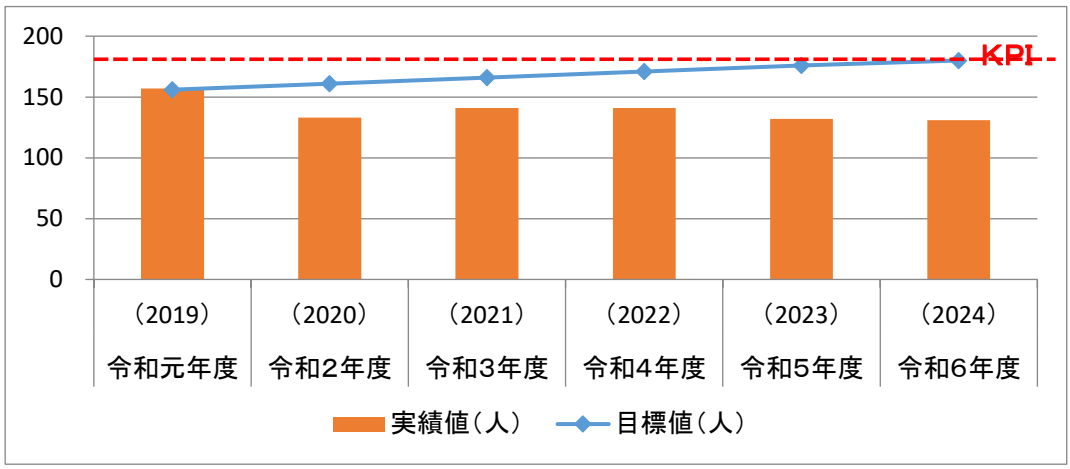
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	各講座の開催回数や定員数等により適切なKPIを設定する必要がある。

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（４）	シルバー人材センターの活用	担当課
概要	これまで培ってきた知識や経験などを活かせる場の提供や、シルバー人材センターを広く周知することで、社会の担い手として活躍できる機会を確保・提供する。	介護課

進捗状況	ＫＰＩ	シルバー人材センター会員数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	151 人
			目標値 令和６年度（2024）	180 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	156	161	166	171	176	180
実績値（人）	157	133	141	141	132	131
目標達成率	101%	83%	85%	82%	75%	73%
ＫＰＩ評価	◎	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・会員数（R6年度:131人、R5:132人、R4:141人）R6年度中、入会10人、退会11人 ・受託件数（R6:628件、R5:613件、R4:690件） ・就業延人員（R6:5,749人、R5:5,397人、R4:6,422人）
分析 Check	・令和５年度と比べ、個人からの受注件数が増加となった。 ・定年の引き上げに伴い、65歳未満の会員の確保が難しく、会員の高齢化が課題となっている。（平均年齢78.2歳）
今後の方向性 Action	・生活支援サービス（訪問型サービスＢ）の実施の拡充。 ・社会の担い手として活躍できる機会を検討する。 ・シルバー人材センターの周知のため引き続き広報へ掲載、シルバー人材センターのチラシを配架するなど、町民の目に触れる機会を増やす。

総合評価	○	取組の継続

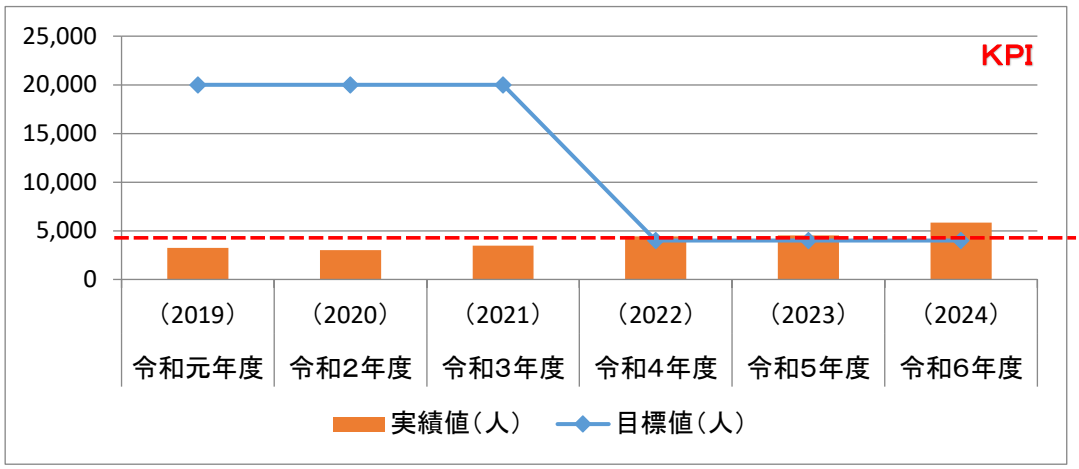
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－２（５）	交通不便地域の解消	担当課
概要	町内の公共交通不便地域の解消を図るとともに民間の交通事業者の運転手不足によるバスの減便や経路縮小に対応するため、コミュニティバスや予約型乗合い交通「ゆたぽん号」を運行し、利用促進を図ることで高齢者などの交通弱者を含め多くの方が気軽に、安全にお出かけできる社会を実現する。	地域政策課 介護課 社会福祉課

進捗状況	ＫＰＩ	「ゆたぽん号」利用者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,493 人
			目標値 令和６年度（2024）	4,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	20, 000	20, 000	20, 000	4, 000	4, 000	4, 000
実績値（人）	3, 228	2, 998	3, 465	4, 421	4, 525	5, 830
目標達成率	16%	15%	17%	111%	113%	146%
ＫＰＩ評価	○	○	○	◎	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・令和６年度は293日運行し、2, 912便で5, 830人の利用があった。 ・路線バスの退出等意向申出については、路線の維持確保を図るため、赤字補てんを行っている。当該バス事業者との協議も継続的に実施している。 ・令和元年度から福祉タクシー券で予約型乗合い交通（ゆたぽん号）の利用を可能とし、障がい者等への利便性の向上を図った。（令和６年度：１件、令和５・４年度：０件） ・ゆたぽん号は、令和６年４月から土曜日を追加して運行している。 ・在宅重度障がい者等に買い物等の外出に利用できる福祉タクシー券を交付した。 ・障がい福祉サービス（居宅介護）の活用により、通院等介助、買い物代行支援及び買い物同行支援を行った。（令和６年度：261件、令和５年度：284件、令和４年度：216件）
分析 Check	・乗車密度は目標1. 5人に対して2. 0人と達成できたが、稼働率においては目標40%以上に対し、35. 5%と未達成となった。 ・エリア別の利用者実績はオレンジライン80. 8%、温泉場25. 4%、福浦13. 8%、鍛冶屋10. 1%と地域による利用者の偏りが生じている。 ・運転手不足によるバス路線の撤退、減便については、代替案を検討しているが、１便あたりの乗車人数が10人を超える場合もあり、適切な方法を研究する必要がある。 ・福祉タクシー券の利用や障がい福祉サービス（居宅介護）の活用により、障がい者等の通院及び買い物等の外出支援に対する利便性の向上が図られている。
今後の方向性 Action	・利用者は口コミ等により増加傾向にあるが、事業をより成熟させていくよう、乗車場所や運行時間の見直しなど利便性の向上やニーズの把握に努め、関係団体にも協力をいただきながら、事業内容を推進する。 ・引き続き事業を継続し、障がい者等に対し、通院及び買い物等のための外出機会の確保や支援を行う。

総合評価	○	取組の継続

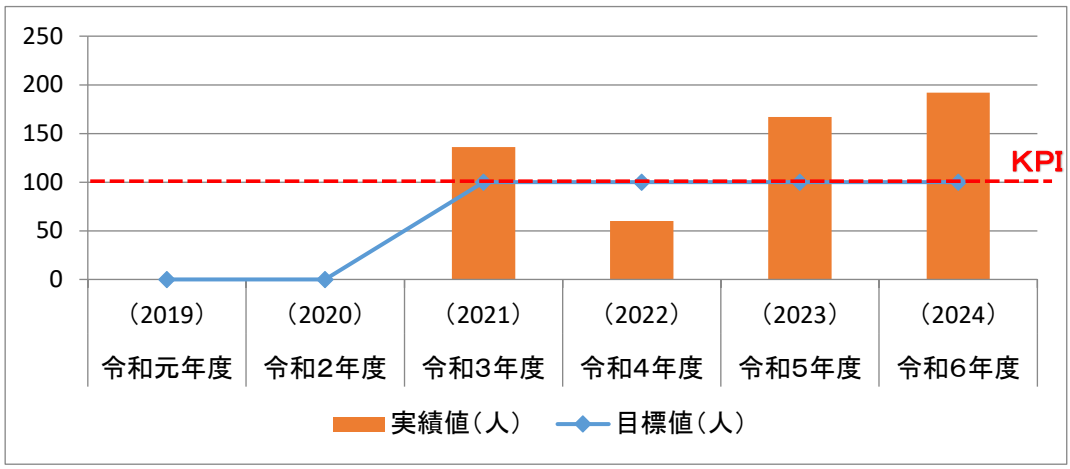
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－３（１）	地域会館を活用した遊びと学びの場づくり	担当課
概要	地域会館などの既存の建物を活用し、日を限定して屋内の遊びと学びの場として提供する。	社会教育課 社会福祉課

進捗状況	ＫＰＩ	施設利用者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	--- 人
			目標値 令和６年度（2024）	100 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	―	―	100	100	100	100
実績値（人）	―	―	136	60	167	192
目標達成率	―	―	136%	60%	167%	192%
ＫＰＩ評価	×	×	◎	△	◎	◎

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・すでに一部の会館ではサロンとして主に高齢者が、囲碁・カラオケ等の利用により、コミュニケーションを図る場として活用されている。 ・各小学校区にある会館（門川会館、文化福祉会館、川堀会館）を活用し、地域住民の協力のもと、子ども向け、一般向けの講座等を開催している。
分析 Check	・地域福祉会館の開放に当たっては、区会や一般利用の貸出との調整、開放可能な部屋等の選定、利用に係る安全管理体制の確保などについて、検討が必要である。 ・地域福祉会館の遊び場としての開放に当たっては、区会や一般利用の貸出との調整、開放可能な部屋等の選定、利用に係る安全管理体制の確保などについて、検討が必要である。また、子どもを見守る場合、誰が見守るのか、地域住民の協力が得られるのか課題である。
今後の方向性 Action	・地域会館が遊び場として開放しての利用が可能かどうか検討を行う。 ・地域会館を、遊び場として開放することが可能かどうか、また管理体制の構築など、課題を解決していく必要がある。

総合評価	○	取組の継続

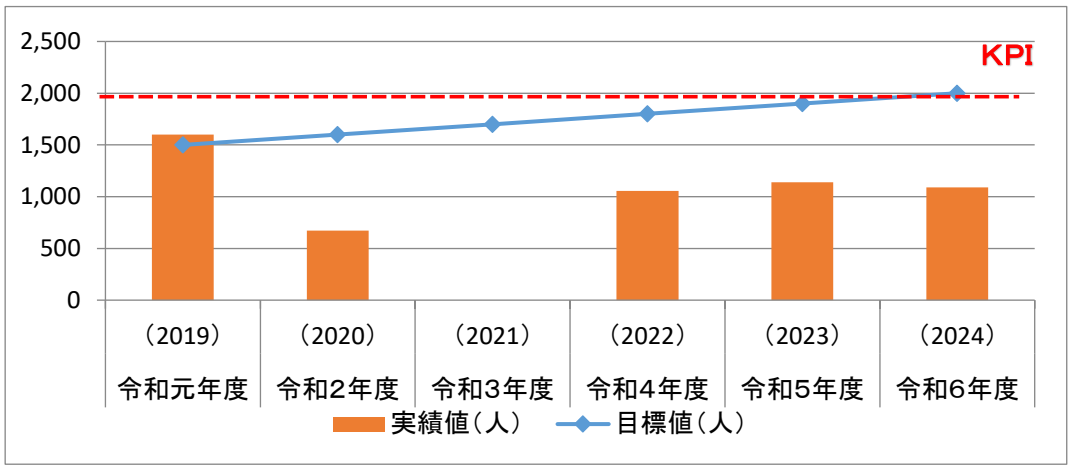
※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	

令和６年度　総合戦略プラン事業検証シート

基本目標４ ４－３（２）	地域防災力の強化	担当課
概要	地域防災の中心的な役割を果たす自治会の自主防災組織の取組みを支援するとともに湯河原町消防団の充実を図り、町民の防災意識の啓発や地域防災力の向上を図る。	地域政策課 消防本部

進捗状況	ＫＰＩ	総合防災訓練参加者数	基準値（開始時） 平成30年度（2018）	1,599 人
			目標値 令和６年度（2024）	2,000 人



	令和元年度 (2019)	令和２年度 (2020)	令和３年度 (2021)	令和４年度 (2022)	令和５年度 (2023)	令和６年度 (2024)
目標値（人）	1, 500	1, 600	1, 700	1, 800	1, 900	2, 000
実績値（人）	1, 599	671	－	1, 056	1, 139	1, 090
目標達成率	106%	41%	－	58%	60%	55%
ＫＰＩ評価	◎	△	△	△	△	△

※ＫＰＩ評価：◎目標値以上、○基準値(開始時)と同等、△基準値(開始時)未満、×進捗なしor事業終了

実績 Do	・例年、総合防災訓練を９月初めに実施していたが、酷暑を避け９月29日に実施をした。 ・各区に対し、地区備蓄防災資機材負担金を整備した。 ・各区及び消防団に訓練を委託し、委託に係る経費を配分した。 ・各分団からの要望に基づく活動用資機材及び水中ポンプの整備を行った。 ・第８分団消防ポンプ自動車の更新整備を行った。 ・消防団員用被服の更新整備を行った。
分析 Check	・町民の防災意識の向上を図るため、自主防災組織と連携し、訓練参加者数の増加を図る必要がある。 ・団員の災害対応力向上を目的とし、各分団からの要望も踏まえ資機材及び消防ポンプ自動車の継続的な更新を行っていく必要がある。
今後の方向性 Action	・総合防災訓練への参加意欲を高める施策を検討する。 ・被服や活動用資器材、車両の整備及び消防団詰所の改修などを計画的に実施する中で、消防団活動における環境改善を図っていく。 ・消防団活動に理解・協力してもらえる事業所数の拡大を図っていく。

総合評価	○	取組の継続

※総合評価：◎取組の深化・発展、○取組の継続、△取組の見直し、×取組の中止・終了・統合

総合戦略会議 委員意見	